

シラバス《目 次》

倫理と人間	94	仏教学 a	158
人生と哲学	96	仏教学 b	160
日本の歴史と文化	98	禅学 a	162
信仰と生活	100	禅学 b	164
仏教心理カウンセリング	102	日本文化 a	166
和の養生学 a	104	日本文化 b	168
和の養生学 b	106	宗教思想 a	170
漢文の基礎 a	108	宗教思想 b	172
漢文の基礎 b	110	仏教福祉 a	174
日本語 I a	112	仏教福祉 b	176
日本語 I b	114	禅宗経典 a	178
日本語 II a	116	禅宗経典 b	180
日本語 II b	118	禅宗法儀 a	182
仏教学の基礎	120	禅宗法儀 b	184
禅宗史概論	122	日本事情 a	186
禅学の基礎	124	日本事情 b	188
仏教史概論	126	茶道 a	190
禅と人間	128	茶道 b	192
提唱・禅語録 I a / II a	130	華道 a	194
提唱・禅語録 I b / II b	132	華道 b	196
卒業実践研究 a	134	筆禅道 a	198
卒業実践研究 b	136	筆禅道 b	200
布教学 a	138	陶芸 a	202
布教学 b	140	陶芸 b	204
僧侶必携 a	142		
僧侶必携 b	144		
坐禅 I a / II a	146		
坐禅 I b / II b	148		
作務 I a / II a	150		
作務 I b / II b	152		
禅の作法と心得 a	154		
禅の作法と心得 b	156		

科目名	倫理と人間			担当教員名	宇佐美 之 規	
サブタイトル	倫理観・道徳観・道徳的性情					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	火曜日・1	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・倫理という言葉についてその意味を知ることができる。
- ・倫理に関する社会的関心とその問題点について考察することができる。
- ・現代における倫理観の欠如の構造について考察し解決策を模索することができる。

【授業概要】

日常的な事柄など身近な問題を題材として、日本人の道徳観(宗教性・禅を含め)を踏まえつつ、倫理について学習し、さまざまな諸問題について、その矛盾に向き合い、その解消について考える思考力を養う力を身につけます。また、テーマを設定しそれぞれが考えを述べて頂き建設的な議論をします。また、新聞の記事にもよく目を通して下さい。

【質疑応答】

質問は講義中、講義終了後、オフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 60%・授業への取組み及び受講態度 20%・レポート 20%。また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『倫理学ノ考究』必要な資料は、担当者の方でコピーし配布します。

参考文献：徳永圀典『日本人の誇りと自信を取り戻す33話』(コスモ21 税込み1404円)

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	倫理とは (講義)	【予習】 エチケットについて考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
②	倫理という語彙 (講義)	【予習】 エチケットについて考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
③	古代ギリシャ (講義)	【予習】 アリストテレスについて調べてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
④	古代ギリシャ (講義)	【予習】 ギリシャの都市国家について調べてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑤	古代ギリシャ (講義)	【予習】 ニコマコス倫理学について調べてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑥	近代西洋における倫理 (講義)	【予習】 カントについて調べてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑦	人間哲学としての問題領域 (講義)	【予習】 倫理観について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑧	日本における倫理 (講義・討論)	【予習】 道徳について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑨	日本文化における型 (講義・討論)	【予習】 日本的な礼儀や礼節について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑩	現代社会の諸問題 (講義)	【予習】 正義と偽りについて考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑪	現代社会の危機 (講義・ビデオ視聴)	【予習】 社会の諸問題について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑫	現代社会の危機 (講義・討論)	【予習】 日本において失われた精神性について考えてくる。伝統や風習等々 (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑬	現代社会の危機 (講義・ビデオ視聴)	【予習】 時代の転換期について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑭	現代社会の危機 (講義・討論)	【予習】 文化の危機について考えてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまで扱った内容をよく整理すること (120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	人生と哲学			担当教員名	宇佐美 之 規	
サブタイトル	人生哲学					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	火曜日・1	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【D P (ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・哲学についての理解を深め説明することができる。
- ・人生哲学について自分なりに考え哲学的理解を深め発言することができる。
- ・現代社会における諸問題について哲学的に考察し説明することができる。

【授業概要】

哲学とは、自然及び社会、思考、知識の獲得に関する一般的法則を研究する科学であり、全体としての世界についての見解を示す世界観でもあり、根本的な原理について万物に共通する法則などを論理的に探究します。そこで、ギリシャ哲学から「存在とは」また、人生哲学についてどのように考えるのか、更に、善や悪とは、賛成と反対とは、正義とは、Fekeについて等々、また、東洋哲学・禅ではどのように考えるのか全員参加型の対話形式の弁証法で議論をしつつ深く考え表現力を学びます。また、新聞をよく読んで下さい。

【質疑応答】

質問は講義中、講義終了後、オフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 60%・授業への取組み及び受講態度 20%・レポート 20%。また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『哲学ノ考究』必要な資料は、担当者の方でコピーし配布します。

参考文献：文献等については、講義中に適時紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	哲学のはじまり (講義)	【予習】 自分自身について考えておくこと(30)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
②	哲学の問い (講義)	【予習】 存在について考えておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
③	課題1 (課題・発表・ビデオ視聴)	【予習】 米国の銃規制、矛盾について考えてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
④	古代ギリシャ哲学 (講義)	【予習】 現象界における根源について考えてみる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑤	古代ギリシャ哲学 (講義)	【予習】 古代ギリシャの哲学者について調べてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑥	古代ギリシャ哲学 (講義)	【予習】 古代ギリシャの哲学者が根源についてどのように考えたか調べてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑦	古代ギリシャ哲学 (講義)	【予習】 ソクラテスについて調べてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑧	課題2 (課題・発表・講義)	【予習】 自身の人生哲学について考えてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑨	古代ギリシャ哲学 (講義)	【予習】 プラトンについて調べてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑩	意識と対象 (講義)	【予習】 ヘーゲルについて調べてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑪	源泉 (講義)	【予習】 ヤスパーズについて調べてくる(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑫	実存哲学 (講義)	【予習】 実存について考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑬	実存の規定 (講義)	【予習】 包括者について考えてみること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑭	存在の探究 (講義)	【予習】 限界状況について考えてみること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまで扱った内容をよく整理すること(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本の歴史と文化			担当教員名	鈴木重喜	
サブタイトル	過去から学び未来につなげる					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	月曜日・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していく事ができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・日本の歴史や文化に関する用語の読み方と意味を習得し、各時代で生み出された文化の意義と特徴を説明できる。
- ・古代国家の形成から近代までのそれぞれの時代の流れと特徴を討論できる。
- ・史料講読力等の意欲が高められる。

【授業概要】

本講義では、日本の歴史の中で特に文化史を中心に概説し、関連史料を全員で読みながら史料にあらわされた事柄について確認し考えます。この講義を通して日本人の過去の文化や先人の考え方等について学び、現代人として日本文化に一層の理解と関心を深めるとともに、次世代へ伝えようとする精神を身に付けます。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は、定期試験(筆記試験70%程度)と授業への取り組み(10%程度)、レポート(20%程度)により行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：尾藤正英『日本文化の歴史』(岩波書店 税込み924円)

配布資料：プリントを配布します。

参考文献：必要に応じて教室で紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめにー日本文化の源流ー (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	古代国家の形成と日本神話 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	仏教の受容とその発展 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	漢風文化から国風文化へ (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	平安時代の仏教(講義・史料講読) *レポート提出	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	鎌倉仏教の成立 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	内乱期の文化 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	国民的宗教の成立 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	近世国家の成立と歴史思想 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	元禄文化 (講義・史料講読) *レポート提出	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	儒学の日本的展開 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	国学と洋学 (講義・史料講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	明治維新における公論尊重の理念 (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	近代日本における西洋化と伝統文化 (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	授業のまとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	信仰と生活			担当教員名	今村敬子	
サブタイトル	生活様式の中における信仰の役割					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	月曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していく事ができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・信仰とは何かを把握することができる。
- ・日本をはじめ世界各国の様々な宗教を比較理解し、その意義を説明することができる。
- ・世界各国における諸問題の根底である価値観(信念、信仰、宗教)の違いに事例をもって説明できる。

【授業概要】

本講義では日本も含めた世界各国における文化(生活様式)や信仰の相違点を様々な事例研究をすることによって比較理解し、それぞれの社会における価値基準や考え方を幅広く学ぶ。また不安定な世界情勢に対しても、グローバルな視点を持って人間の尊厳理解と平和の在り方(問題解決力)を追求し、社会に広げていく力(社会貢献力)を養うようにする。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業後に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%、授業中の取り組み(発表)10%、授業後の課題プリント 20%程度により評価する。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『文化人類学カレッジ版(第3班)』医学書院

参考文献：必要な参考資料は随時配布。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	第1章 人間と文化 A 文化人類学における文化 B 文化の諸相	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	第1章 人間と文化 C 文化人類学はどのような学問か D 現代社会と文化人類学の研究	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	第2章 文化人類学と質的關係 A 質的思考から質的關係へ	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	第2章 文化人類学と質的關係 B 文化人類学とエスノグラフィー C エスノグラフィーの現代的意義	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	第3章 個人・家族・コミュニティ A 個人と社会 B 家族	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	第3章 個人・家族・コミュニティ C 家族を超えたつながり	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	第4章 人生と通過儀礼 A 通過儀礼と境界理論 B ライフサイクルと境界理論	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	第4章 人生と通過儀礼 C 儀礼の構造 D 通過儀礼とコミュニタス E なぜ通過儀礼を経なければ	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	第5章 宗教と世界観 A 文化人類学と「宗教」 B 文化人類学と儀礼研究	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	第5章 宗教と世界観 C トランスナショナル時代における宗教と世界観	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	第6章 健康・病気・医療 A 健康と身体 B 病気と治療	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	第6章 健康・病気・医療 C 医療の体系 D 環境と健康	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	第7章 人間と死 A 人は死をどう考えたか B 人の死と死体処理	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	第7章 人間と死 C 死者儀礼 D 現代における死の問題	【予習】 テキストを読み授業内容を把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ	【予習及び復習】 試験対策として学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	課題に対する小レポートを作成

【メモ】

科目名	仏教心理カウンセリング			担当教員名	土岐邦彦	
サブタイトル	「生きづらさ」を抱える人間の理解					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	月曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、南泉寺住職・岐阜大学名誉教授			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していく事ができる。

【到達目標】

- ・「自我」「自己」に関する心理学的理論を習得し、現代社会で問題となっている青年・成人の「生きづらさ」を「自我」の発達の様相とかかわらせて論じることができる。
- ・「生きづらさ」を抱える具体的事例について討論できる。
- ・人間理解への新たな視点を獲得する意欲が高められる。

【授業概要】

本講義では、心理学を初めて学ぶ受講生が大半であると思われるので、以下の3つの領域に分けて学習を進めていく。最初に、心理学の近接学問領域では人間理解がどのように論じられているかを教授する。次いで、臨床発達心理学の視点から「自我」の発達に関する理論を学び、人間を総体としてとらえる視点を提示する。最後に、現代社会で困難を抱えて生きる事例をとおして「自我」の育ちと揺れという視点から「生きづらさ」を抱える人たちの心性について学び、受講生それぞれの意見を交流する。

【質疑応答】

質問等は授業の終了後に時間をとりますので積極的に聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は、定期試験(筆記試験60%程度)、授業への取り組み(討論への参加状況40%程度)により行います。授業時数の5分の1以上欠席(遅刻・早退は2回で1回の欠席と見なす)すると筆記試験の受験資格がなくなります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：9回目までの講義に関するテキストは授業者が印刷・作成したものを最初の授業時に配布します。

資料：10回目以降の資料は、その前週の授業時に配布します。

参考文献：教場で紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (本講義のガイダンス)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	心理学の周辺領域①進化論的人間理解 －人間はどこまで動物か(講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	心理学の周辺領域②歴史学的人間理解 －近代を区切りにした人間観の変遷(講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	心理学の周辺領域③大脳生理学的人間理解 －言葉を生み出す脳(講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	人間の発達をどうとらえるか －心理学史の概観(講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	自我の発達①自我の芽生え(講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	自我の発達②自我の成立(講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	自我の発達③自我の動揺(講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	自我の発達④自我の安定(講義)	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	「生きづらさ」を抱える事例の紹介と討論① (資料の講読と討論)	【予習】 資料を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	「生きづらさ」を抱える事例の紹介と討論② (資料の講読と討論)	【予習】 資料を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	「生きづらさ」を抱える事例の紹介と討論③ (資料の講読と討論)	【予習】 資料を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	「自己」に関するキーワードから現代社会の問題 を考える①「自己肯定感」(資料の講読と討論)	【予習】 資料を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	「自己」に関するキーワードから現代社会の問題 を考える②「自己責任」(資料の講読と討論)	【予習】 資料を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	授業のまとめ(講義)	【予習及び復習】 試験対策として学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	課題に対する小レポートを作成

【メモ】

科目名	和の養生学 a			担当教員名	野崎 康 弘	
サブタイトル	日本の伝統食と文化の素晴らしさを再認識します。					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	火曜日・3	1	講義、実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	漢方の野崎薬局(漢方、鍼灸)経営。薬草園運営、養生学講座開設。			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・陰陽学説、五行学説を学び、理解しその意味を説明することができる。
- ・日本の食材の歴史と素晴らしさを学び、陰陽五行論の中の気味(四気と五味)で理解し説明することができる。
- ・日本のおかずのバランスの良さを学び、陰陽五行論の気味(四気と五味)で理解し説明することができる。
- ・伝統的なツボについて実践し学び、説明し、利用できるようになる。
- ・日本の伝統的な行事を学び、その意義を理解し、その意味を説明できる。
- ・時節の伝統的な食べ物を味わい、その意義を陰陽五行論で説明できる。
- ・蓮の栽培法、甘茶の製法を学び、実践できるようになる。

【授業概要】

東洋医学の基本である陰陽五行説を学び、日常の食材やおかずについて、陰陽五行説で解説し、日本の食材や食事の良さを説明します。また、受講者のお袋の味を同様な方法で説明し、その良さを堪能していただきます。日本に古くから行われている「時節の行事」を解説します。日常使うことのできるツボを説明し、実践してもらいます。

蓮の栽培、甘茶の作り方を実習してもらいます。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業後に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(筆記試験70%程度)と授業への取り組み(10%程度)、レポート(20%程度)により行います。

【テキスト及び参考文献】

野崎康弘著『和の養生学』食養生学編(無料配布)、針灸編はプリント配布。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	蓮の植え付け（実習） 汚れても良い服装、ゴム手袋持参	【予習】 実践内容を把握する(30)
		【復習】 実践内容の確認とまとめ(30)
②	陰陽学説について（講義、討論、スライド） 陰陽とは、気血とは （テキストp1～、p22～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
③	五行学説、五行説と自然界 （テキストp9～） 食養生とは（講義、討論、スライド） （テキストp26～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
④	五行学説、五行説と身体 （テキストp16～） 時節の行事（講義、討論、スライド） （テキストp241～） ・レポート提出	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	経絡とツボに付いて、取穴方法と効能、実践 （講義、実習）（プリント配布）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	調味料（しょうゆ、味噌など） （講義、実習）（テキストp189～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	調味料（塩、酢、ミリン、ポン酢など） （講義、実習）（テキストp195～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	薬食同源（米、ご飯、粥）（講義、実習） （テキストp70～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	薬食同源（うめ、らっきょう）（講義、実習） （テキストp103～、p121～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	食養生（夏の食材）（講義、実習） （テキストp47～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	薬食同源（ドクダミ、オオバコなど） （講義、実習）（テキストp111～、p126）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	時節の行事（講義） ツボの取穴方法と効能（講義、実習） （プリント配布）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	薬食同源（ダイコンなど）（講義） （テキストp78～） 夏の食材（講義） （テキストp47～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	甘茶作りの実習。 山を散策できる服装、手袋持参。 （テキストp124～）	【予習】 実践内容を把握する(30)
		【復習】 実践内容の確認とまとめ(30)
⑮	授業のまとめ	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(100)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	和の養生学b			担当教員名	野崎康弘	
サブタイトル	日本の伝統食と文化の素晴らしさを再認識します。					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	火曜日・3	1	演習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	漢方の野崎薬局(漢方、鍼灸)経営。薬草園運営、養生学講座開設。			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・陰陽学説、五行学説を学び、理解しその意味を説明することができる。
- ・日本の食材の歴史と素晴らしさを学び、陰陽五行論の中の気味(四気と五味)で理解し説明することができる。
- ・日本のおかずのバランスの良さを学び、陰陽五行論の気味(四気と五味)で理解し説明することができる。
- ・伝統的なツボについて学び、美濃加茂市で開催される「e-kamon まるごと環境フェア」で実践し説明できるようになる。
- ・日本の伝統的な行事を学び、その意義を理解し、その意味を説明できる。
- ・時節の伝統的な食べ物を味わい、その意義を陰陽五行論で説明できる。
- ・味噌作りの実習を通して、その方法を実践できるようにする。

【授業概要】

東洋医学の基本である陰陽五行説を学び、日常の食材やおかずについて、陰陽五行説で解説し、日本の食材や食事の良さを説明します。また、受講者のお袋の味を同様な方法で説明し、その良さを堪能していただきます。日本に古くから行われている「時節の行事」を解説します。日常使うことのできるツボを説明し、実践してもらいます。

味噌の作り方を実習してもらいます。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業後に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(筆記試験70%程度)と授業への取り組み(10%程度)、レポート(20%程度)により行います。

【テキスト及び参考文献】

野崎康弘著『和の養生学』食養生学編(無料配布)、針灸編はプリント配布。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	陰陽五行学説（講義） （テキストp1～） 薬味（サンショウ、ショウガ）（講義、実習、 スライド）（テキストp147～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	陰陽五行学説（講義） （テキストp1～） 薬味（ネギ、ワサビ）（講義、実習、スライド） （テキストp159～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
③	ツボの取穴方法と効能（講義、実習） （プリント配布） 食養生（秋の食材）（講義、実習） （テキストp56～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
④	薬食同源（桃、柿などの果物）（講義、実習） （テキストp106～） ・レポート提出	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	薬食同源（ゴボウ、ハクサイ）（講義） （テキストp85～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	一年、一ヶ月、一日の陰陽盛衰 （講義、スライド）（テキストp203～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	薬食同源（サトイモ、ヨモギ） （テキストp91～、p114～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	薬味（シソ、カラシ、唐辛子） （講義、実習）（テキストp165～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	薬味（ミョウガ、ニラ、ユズ、茶） （講義、実習）（テキストp173～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	薬食同源（レンコン、コンニャク） （講義、スライド）（テキストp97～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	薬食同源（菊）（講義、実習） （テキストp129～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	時節の行事（講義、スライド） （テキストp245～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	薬食同源（マメ類）（講義、実習） （テキストp135～）	【予習】 参考書を読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	味噌作り（講義、実習） （テキストp191～）	【予習】 実践内容を把握する(10)
		【復習】 実践内容の確認とまとめ(10)
⑮	授業のまとめ	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(100)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	漢文の基礎 a			担当教員名	桐野 祥陽	
サブタイトル	故事成語を通じて漢文読解の基礎を学び固めていく。					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	水曜 4、 木曜 3・4(隔週)	1	演習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、大泉寺住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・漢字の価値や重要性を知ることができる。
- ・簡単な文章を読む中で、漢和辞典の引き方や、漢文特有の句法や用法を知ることができる。
- ・最終的に漢文の書き下しと意味がとれるようになり、漢文読解の力を修得することができる。

【授業概要】

漢文を学ぶ上で重要とされるのが「訓読」の力である。

本講義では、故事成語や禅語録等を取り上げ、基礎的な処から漢文読解に必要な句法に注意しつつじっくりと進めていく。

【質疑応答】

講義中にその都度確認する。ただ、この講義は毎週開催されるわけではないので、もし理解を深めるに当たり早く質疑をしたい場合は、メールなどの方法を取る。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

講義毎に課題を出し、それに対する取り組む姿勢や受講態度(講義中に行う書き取り)等を重視する(50%)。筆記試験(50%)。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：随時プリントで配布する。

辞書：戸川芳郎監修『漢辞海』三省堂(必須)※他の辞書でも構わないが出来ればこれを推奨したい。

参考文献：西田太郎『漢文法要説』朋友出版社 西田太郎・小川環樹『漢文法入門』岩波全書

吉川幸次郎『漢文の話』ちくま学芸文庫

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス	【予習】 シラバス確認 (10)
		【復習】 今後の講義内容の確認など(30)
②	「漢文」とは何か (漢字の歴史・漢文学習の意義)①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
③	「漢文」とは何か (漢字の歴史・漢文学習の意義)②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
④	故事成語 『唐詩紀事』①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑤	故事成語 『唐詩紀事』②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑥	故事成語 『戦国策』①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑦	故事成語 『戦国策』②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑧	故事成語 『孟子』①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑨	故事成語 『孟子』②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑩	故事成語 『韓非子』①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑪	故事成語 『韓非子』②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑫	故事成語 『論語』①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑬	故事成語 『論語』②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑭	故事成語 『論語』③	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑮	故事成語 「前期の重要箇所確認」	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	漢文の基礎b			担当教員名	桐野祥陽	
サブタイトル	禅語録を通じて漢文読解の基礎を学び固めていく。					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	水曜4、 木曜3・4(隔週)	1	演習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、大泉寺住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・漢字の価値や重要性を知ることができる。
- ・簡単な文章を読む中で、漢和辞典の引き方や、漢文特有の句法や用法を知ることができる。
- ・最終的に漢文の書き下しと意味がとれるようになり、漢文読解の力を修得することができる。

【授業概要】

漢文を学ぶ上で重要とされるのが「訓読」の力である。

本講義では、故事成語や禅語録等を取り上げ、基礎的な処から漢文読解に必要な句法に注意しつつじっくりと進めていく。

【質疑応答】

講義中にその都度確認する。ただ、この講義は毎週開催されるわけではないので、もし理解を深めるに当たり早く質疑をしたい場合は、メールなどの方法を取る。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

講義毎に課題を出し、それに対する取り組む姿勢や受講態度(講義中に行う書き取り)等を重視する(50%)。筆記試験(50%)。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『無門関』『碧巖録』『臨濟録』などは随時プリント配布。※その他の語録に対するテキストについては講義中に紹介する。

辞書：戸川芳郎監修『漢辞海』三省堂(必須)※他の辞書でも構わないが出来ればこれを推奨したい。

参考文献：西田太郎『漢文法要説』朋友出版社 西田太郎・小川環樹『漢文法入門』岩波全書
吉川幸次郎『漢文の話』ちくま学芸文庫

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス 禅語録についての解説① 『無門関』『碧巖録』『臨濟録』	【予習】 シラバス確認(10)
		【復習】 今後の講義内容の確認など(30)
②	禅語録についての解説② 『無門関』『碧巖録』『臨濟録』	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
③	禅語録 『無門関』 第一則 趙州狗子 本則	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
④	禅語録 『無門関』 第一則 趙州狗子 評唱①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑤	禅語録 『無門関』 第一則 趙州狗子 評唱②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑥	禅語録 『無門関』 第一則 趙州狗子 評唱③	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑦	禅語録 『無門関』 第一則 趙州狗子 評唱④	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑧	禅語録 『無門関』 第一則 趙州狗子 評唱⑤	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑨	禅語録 『無門関』 第一則 趙州狗子 頌	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑩	禅語録 『碧巖録』 第一則 武帝問達磨 本則①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑪	禅語録 『碧巖録』 第一則 武帝問達磨 本則②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑫	禅語録 『碧巖録』 第一則 武帝問達磨 評唱①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑬	禅語録 『碧巖録』 第一則 武帝問達磨 評唱②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑭	禅語録 『碧巖録』 第一則 武帝問達磨 頌①	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑮	禅語録 『碧巖録』 第一則 武帝問達磨 頌②	【予習】 講義に出す課題下調べ(60)
		【復習】 講義内容の確認・まとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本語 I a			担当教員名	今村敬子	
サブタイトル	日本語の基礎学習					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	水曜日・3	1	演習	15	留学生必修
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

【到達目標】

- ・日本語の基礎力を習得することができる。
- ・日本語の語彙や文法を体系的に習得できる。
- ・簡単な日本語での表現ができる。

【授業概要】

初級レベルの日本語の基礎について習得を目指す。『みんなの日本語初級1』をテキストとして、日常会話に必要な基本的文法と語彙を養う。

【質疑応答】

授業時間内およびオフィスアワーに受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%、授業への取組み及び受講態度 20%、レポート 10%、また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなるので、注意すること。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『みんなの日本語初級1』スリーエーネットワーク
必要に応じてコピーして配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	五十音	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	ひらがな・カタカナ	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	あいさつ・自己紹介	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	これ・それ・あれ	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	ここ・そこ・あそこ・あちら	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	時間・曜日・数字	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	～へ行く	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	～ます・～ましょう	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	～な・～い	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	好き嫌い	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	ある・いる	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	数え方	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	～より・～とどちら	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	～したい・～がほしい	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本語 I b			担当教員名	今村敬子	
サブタイトル	日本語での表現					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	水曜日・3	1	演習	15	留学生必修
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP (ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

【到達目標】

- ・文法や語彙の拡充により、基礎力が向上できる。
- ・物事をより詳しく説明する表現力を習得することができる。
- ・文の構造や意味・機能を総合的に理解することができる。

【授業概要】

初級レベルの日本語の基礎について習得を目指す。『みんなの日本語初級2』をテキストとして、日常会話に必要な基本的文法と語彙を養う。

【質疑応答】

授業時間内およびオフィスアワーに受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%、授業への取組み及び受講態度 20%、レポート 10%、また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなるので、注意すること。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『みんなの日本語初級2』スリーエーネットワーク
必要に応じてコピーして配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	ください・ましょうか	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	いいですか・いけません	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	～でから・～で	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	～ないでください・なければなりません	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	ができます	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	ことがあります	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	普通体	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	と思います・といいます	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	修飾関係	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	～とき	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	あげます・もらいます・くれます	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	仮定条件・確定条件	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	会話 1	【予習】 テキストを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	会話 2	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本語Ⅱa			担当教員名	宇佐美之規	
サブタイトル	会話学習					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
2	春	火曜日・3	2	演習	15	留学生必修
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

【到達目標】

- ・日本語での会話が中級程度話することができる。
- ・応用的な表現を使った会話ができるようになる。
- ・ひらがな、カタカナ、漢字を理解することができるようになる。

【授業概要】

中級レベルの日本語を学びます。応用的な表現を身につけて、日本語のひらがな、カタカナ、簡単な漢字の読みと意味を習得します。

【質疑応答】

質問は講義中、講義終了後、オフィスアワーの時間に行います。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%、授業への取組み及び受講態度 20%、レポート 10%。また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『新日本語の基礎Ⅱ』（スリーエーネットワーク、2524円税抜き）

参考文献：文献等については、講義中に適時紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	第1課 話し言葉用法 (講義)	【予習】 ~んです。~んですがという表現について勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
②	第2課 可能動詞 (講義)	【予習】 まだ~ません。~は~の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
③	第3課 習慣的動作 (講義)	【予習】 ~ながら、~ています。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
④	第4課 結果の状態 (講義)	【予習】 ~が~ています。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑤	第5課 他動詞と助詞の用法 (講義・課題)	【予習】 ~ (よ) う。~予定です。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑥	第6課 助言や指示 (講義)	【予習】 ~た/ないほうがいいです。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑦	第7課 命令形・禁止形 (講義)	【予習】 ~てくれ。と言っていました。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑧	第8課 名詞+のとおり (講義)	【予習】 ~とおりに。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑨	第9課 自動詞と可能動詞 (講義)	【予習】 ~ようになりました。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑩	第10課 受身の表現 (講義・課題)	【予習】 ~は~に(ら)られます。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑪	第11課 動詞文の名詞句化 (講義)	【予習】 ~のは~です。~のが~です。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑫	第12課 形容詞の否定形 (講義)	【予習】 ~て、~くて、~で、~ので。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑬	第13課 疑問詞 (講義)	【予習】 ~かどうか、~。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑭	第14課 ひらがな、カタカナ、簡単な漢字	【予習】 ア〜行のひらがなとカタカナ及び簡単な漢字を書けるように練習しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる。(30)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまで扱った内容をよく整理すること (120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本語Ⅱb			担当教員名	宇佐美 之 規	
サブタイトル	会話の類似場面					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
2	秋	火曜日・3	2	演習	15	留学生必修
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。

【到達目標】

- ・日本語での会話が中級以上程度話することができる。
- ・より丁寧な表現を使った会話ができるようになる。
- ・ひらがな、カタカナ、漢字を理解することができるようになる。

【授業概要】

中級レベル以上の日本語を学びます。応用的な表現（丁寧な表現等々）を身につけて、日本語のひらがな、カタカナ、簡単な漢字の読みと意味を習得します。

【質疑応答】

質問は講義中、講義終了後、オフィスアワーの時間に行います。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 70%、授業への取組み及び受講態度 20%、レポート 10%。また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『新日本語の基礎Ⅱ』（スリーエーネットワーク、2524円税抜き）

参考文献：文献等については、講義中に適時紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	第1課 ひらがな、カタカナ、簡単な漢字	【予習】 ア～シ行を勉強してくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
②	第2課 授受 (講義・課題)	【予習】 ～くださいませ、やります。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
③	第3課 動詞の辞書形 (講義・課題)	【予習】 ～ために、～(の)に。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
④	第4課 動詞のます形 (講義・課題)	【予習】 ～そうです。～て来ます。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑤	第5課 ひらがな、カタカナ、簡単な漢字	【予習】 ス～ノ行を勉強してくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑥	第6課 形容詞+すぎます1 (講義・課題)	【予習】 ～く/にします。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑦	第7課 形容詞+すぎます2 (講義・課題)	【予習】 ～すぎました。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑧	第8課 動詞の肯定、否定形 (講義・課題)	【予習】 ～します。～にくいです。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑨	第9課 辞書形 (講義・課題)	【予習】 ～場合は、～。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑩	第10課 ひらがな、カタカナ、簡単な漢字	【予習】 ハ～ン行を勉強してくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑪	第11課 普通形+ようです (講義・課題)	【予習】 ～ようです。～そうです。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑫	第12課 使役の用法 (講義・課題)	【予習】 ～は～を～(さ)せます。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑬	第13課 尊敬 (講義・課題)	【予習】 ～(ら)れます。の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑭	第14課 謙譲語 (講義・課題)	【予習】 お/ご～します。特別な謙譲動詞の表現を勉強しておくこと(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまで扱った内容をよく整理すること(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	仏教学の基礎			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	仏教の基礎を学ぶ					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	月曜日・2	2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、瑞東寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・ 仏教の基本的概念を学習し、その意味を説明することができる。
- ・ 仏教思想を深く理解し、他の宗教にはない特徴を他者に説明することができる。
- ・ 生きる上で仏教の思想を活かすことができる。

【授業概要】

本授業では、『勤行聖典』を軸として仏教の基礎を学ぶ。授業ではインド仏教の基本的教義から仏伝、また日課経典の現代語訳などを提示し、その内容を説明する力を身につけることを目的とする。経典や文献については、受講者のリクエストによって変更あり。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(70%)、授業で課する課題の取り組み(30%)の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『勤行聖典』

配布資料：プリント配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第二版』岩波書店 7560円

大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編 改訂版』大正大学出版会 1575円

駒澤大学内禅学大辞典編纂所『新版禅学大辞典』大修館書店 27000円

また多くの辞書類から仏教用語を調べる習慣をつけることが望ましい。その他必要な文献については、講義中に適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス 仏教とその展開について（講義）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
②	大乘仏教の概要 七佛通戒偈・夜叉説半偈（講義・経典講読）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
③	懺悔文・開経偈・剃髮偈 三帰戒・四弘誓願と菩薩思想（講義・経典講読）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
④	釈尊の生涯① 降誕から青年期～出家（講義）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑤	釈尊の生涯② 成道～涅槃（講義）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑥	ブッダの教えとは 四諦八正道、中道、十二縁起（講義）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑦	禅宗の得度と授戒について （講義）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑧	律蔵と大乘菩薩戒思想 （講義）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑨	禅定修行とマインドフルネス （講義）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑩	アビダルマ思想と仏教の真理 （講義）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑪	『白隠禅師坐禅和讃』と禅定 （講義・経典講読）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑫	『菩提和讃』と『遺教経』 （講義・経典講読）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑬	『坐禅儀』と『天台小止観』 （講義・経典講読）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑭	『興禅大燈国師遺誡』と応灯関 （講義・経典講読）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑮	『無相大師遺誡』と正眼寺 （講義・経典講読）	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅宗史概論			担当教員名	池田丈明	
サブタイトル	仏教と社会					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	火曜日・2	2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、利海寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅宗が利他主義の大乗仏教教団であることを再認識できる。
- ・日本中世の仏教観の大きな転換となった「鎌倉新仏教中心論」から「顕密体制論」への移行を理解することができる。
- ・ポスト顕密体制論を模索する広い視野を持つことができる。

【授業概要】

中国・日本にわたって禅宗の歴史を概説します。この講義では、歴史学の観点から禅宗と社会の関係、つまり禅僧や禅宗教団は社会との交渉の中でどのように思想を形成し、またどのように社会へ働きかけていったのか解説を試みます。

中国・日本の一般的な歴史を再確認し、その中に禅宗史を位置づけていく予定です。

【質疑応答】

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験（筆記試験 70%程度）と授業への取り組み（20%）と適宜提出していただく小レポート（10%）で成績を評価します。なお、授業時数の5分の1以上欠席すると、筆記試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』（臨済宗妙心寺派宗務本所、税込み 1000 円）。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに ―中国仏教の基本的性格―	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	中国仏教の成熟・繁栄 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	中国禅宗の成立 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	中国禅宗の展開 1 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	中国禅宗の展開 2 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	密教(金剛乗仏教)の成立 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	禅の日本伝来 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	中世前期の日本仏教 1 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	中世前期の日本仏教 2 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	中世後期社会と日本禅宗 1 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	中世後期社会と日本禅宗 2 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	中世禅僧の坐禅工夫 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	近世の日本仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	近代仏教(仏教の近代主義) (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ ―古典的仏教墮落論再考―	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅学の基礎			担当教員名	山川宗玄	
サブタイトル	修行の基礎とそのプロセス					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	水曜日・2	2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	正眼寺住職、正眼僧堂師家			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・ 先ず「坐禅儀」次いで「十牛図」の読み下しができ、その内容を理解することができる。
- ・ 「十牛図」の修行の課程を説明することができる。
- ・ 自己の人生との関連に於いて、十牛図の第何番目が今現在該当するか説明ができる。

【授業概要】

禅の基本理念を表す「十牛図」は、悟り・自性・仏心というものを牛に例え、自己の心の成長(転送)に従い、その修證の階梯を十段階に分けて説いている。本講義に依って、本当の心の参究に加わってもらえればと思う。しかし、理念のみでは片手落ちというもので、修(坐禅の行)を通して更に参究が究明となることを期待する。授業の進度は、学生の習熟度により若干の変更あり。

【質疑応答】

質問等については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

- ・ 4/15 開講式には出席のこと。
- ・ 定期試験(70%)と授業への取り組み(30%)で単位認定をする。尚、授業回数の5分の1以上欠席をすると、定期(筆記)試験の受験資格を失う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：作成・配布する。

参考文献：禅の語録 16『信心銘・証道歌・十牛図・坐禅儀』筑摩書房 等

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	「十牛図」 解題及び坐禅について (講義)	【予習】 シラバスを読み、概略の把握(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	正眼寺開講式参加 (講義)	【予習】 「坐禅儀」 について調べる(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	「十牛図」 その周辺「坐禅儀」 解説 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	「十牛図」 総序 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	「十牛図」 第一 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	「十牛図」 第二 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	「十牛図」 第三 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	「十牛図」 第四 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	「十牛図」 第五 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	「十牛図」 第六 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	「十牛図」 第七 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	「十牛図」 第八 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	「十牛図」 第九 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	「十牛図」 第十 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	「十牛図」 まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	仏教史概論			担当教員名	池田 丈明	
サブタイトル	仏教と社会					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	火曜日・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、利海寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・ 仏教の基本教説を習得し、その意味を説明することができる。
- ・ 小乗仏教と大乘仏教の明確な差異を説明することができる。
- ・ ポスト近代仏教(仏教の近代主義)を模索する広い視野を持つことができる。

【授業概要】

インド・東南アジア・東アジアにわたって仏教の歴史を概説します。この講義では、歴史学の観点から仏教と社会の関係、つまり仏僧や仏教団は社会との交渉の中でどのように思想を形成し、またどのように社会へ働きかけていったのか解説を試みます。

インド・東南アジア・東アジアの一般的な歴史を再確認し、その中に仏教史を位置づけていく予定です。

【質疑応答】

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(筆記試験70%程度)と授業への取り組み(20%)と適宜提出していただく小レポート(10%)で成績を評価します。なお、授業時数の5分の1以上欠席すると、筆記試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』(臨済宗妙心寺派宗務本所、税込み1000円)。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに ―仏教興起以前のインド―	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	原始仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	仏教の基本教説 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	仏教の基本教説と仏教の近代主義 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	インド仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	小乗仏教と大乘仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	東南アジアの仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	大乘仏教の菩薩思想 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	中国仏教の成熟・繁栄 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	密教(金剛乗仏教)の成立 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	日本中世の仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	日本仏教の戒律 ―菩薩の精神の自覚― (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	日本近世の仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	近代仏教 (講義)	【予習】 レジюмеを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ ―日本仏教の再大乘化―	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅と人間			担当教員名	山川宗玄	
サブタイトル	見性(さと)りとは何か					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
2	秋	水曜日・2	2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	正眼寺住職、正眼僧堂師家			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・「六祖壇経」の読み下しができ、その内容を理解することができる。
- ・「六祖壇経」における見性について説明することができる。
- ・六祖の禅宗界における革新性を説明することができる。

【授業概要】

唐代の初め、六祖慧能大鑑禅師より禅の根本的な教えである『六祖壇経』が説かれた。禅を学ぶ者は、この原点に一度は返らねばならない。また見性という、今日臨済禅が一番大事にしなければならぬ、宗教的体験を平易に開示、説かれたものであるから、その内容を理解し説明できる能力を身につけることを目的として取り組む。授業の進度は、学生の習熟度により若干の変更あり。

【質疑応答】

質問等については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

- ・2/1 講了式には出席のこと。
- ・定期試験(70%)と授業への取り組み(30%)で単位認定をする。尚、授業回数の5分の1以上欠席をすると、定期(筆記)試験の受験資格を失う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：作成・配布する。

参考文献：禅の語録4『六祖壇経』筑摩書房 等

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	『六祖壇経』の解題と達磨より六祖に到る禅宗史 (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	序文 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	本文 縁起説法門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	本文 悟法伝衣門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	本文 悟法伝衣門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	本文 悟法伝衣門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	本文 悟法伝衣門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	本文 為時衆説定慧門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	本文 為時衆説定慧門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	本文 教授坐禅門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	本文 教授坐禅門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	本文 説法吉懺悔発願門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	本文 説法吉懺悔発願門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	本文 説一体三身仏相門 (講義)	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	提唱・禅語録 I a / II a			担当教員名	山川宗玄	
サブタイトル	さとの説法、人生講義					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1 / 2	春	水曜日・1	2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	正眼寺住職、正眼僧堂師家			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・禅の修行の道筋を理解することができる。
- ・漢文の読解力を高めることができる。
- ・個々人の様々な問題に対して解決意思力を向上させることができる。

【授業概要】

提唱とは提(ひっさ)げ唱(とな)えるということで、禅の専門道場に於ける独特の講座である。それは一般的の講義・講話と異なり、道場の指導者、これを師家(しけ)というが、師家の実体験を丸出しにした説話である。修行の方向と人生全般に亘る師家の講義ともいえる。そして、修行の先達である祖師方の行履(あんり)を、その語録から学ぶ。聴講者の心の開発に与ればと思う。

尚、正眼僧堂で修行中の雲水と共の聴講となるが、その形式も含め提唱なのだとして理解してもらいたい。今年度は臨済禅の語録の根本ともいべき臨済慧照禅師の「臨済録」を講本とする。

【質疑応答】

質問等については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

- ・4/15 開講式には出席のこと。
- ・定期試験(70%)と授業への取り組み(30%)で単位認定をする。尚、授業回数の5分の1以上の欠席をすると、定期(筆記)試験の受験資格を失う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：作成・配布する。

参考文献：中村文峰著『臨済録』(大蔵出版) その他多数あり

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	提唱ガイダンス 祖師語録の意味	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	正眼寺開講式参加	【予習】 「臨濟録」の成立について調べる(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	「臨濟録」示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	「臨濟録」示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	「臨濟録」示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	「臨濟録」示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	「臨濟録」示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	「臨濟録」示衆	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	「臨濟録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	「臨濟録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	「臨濟録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	「臨濟録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	「臨濟録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	「臨濟録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	「臨濟録」勘弁	【予習】 語録の該当箇所を読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	提唱・禅語録 I b / II b			担当教員名	山川宗玄	
サブタイトル	さとの説法、人生講義					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1 / 2	秋	水曜日・1	2	講義	15	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	正眼寺住職、正眼僧堂師家			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・禅の修行の道筋を理解することができる。
- ・漢文の読解力を高めることができる。
- ・個々人の様々な問題に対して解決意思力を向上させることができる。

【授業概要】

提唱とは提(ひっさ)げ唱(とな)えるということで、禅の専門道場に於ける独特の講座である。それは一般的の講義・講話と異なり、道場の指導者、これを師家(しけ)というが、師家の実体験を丸出しにした説話である。修行の方向と人生全般に亘る師家の講義ともいえる。そして、修行の先達である祖師方の行履(あんり)を、その語録から学ぶ。聴講者の心の開発に与ればと思う。

尚、正眼僧堂で修行中の雲水と共の聴講となるが、その形式も含め提唱なのだとして理解してもらいたい。今年度の秋学期は、禅の典籍の基礎ともいべき『禅宗四部録』から「信心銘」と「証道歌」を講本とする。

【質疑応答】

質問等については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

- ・2/1 講了式には出席のこと。
- ・定期試験(70%)と授業への取り組み(30%)で単位認定をする。尚、授業回数の5分の1以上欠席をする
と、定期(筆記)試験の受験資格を失う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：作成・配布する。

参考文献：禅の語録 16『信心銘・証道歌・十牛図・坐禅儀』筑摩書房

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	提唱ガイダンス 祖師語録の意味	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	提唱ガイダンス 「信心銘」「證道歌」の生まれるまで	【予習】 「信心銘」「證道歌」の成立について調べる(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	「信心銘」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	「信心銘」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	「信心銘」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	「信心銘」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	「信心銘」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	「證道歌」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	「證道歌」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	「證道歌」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	「證道歌」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	「證道歌」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	「證道歌」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	「證道歌」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	「證道歌」	【予習】 語録の該当箇所の読み方と語句について調べ、内容を把握する(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	卒業実践研究 a			担当教員名	各指導教官	
サブタイトル	随所に主となる					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	水曜日・4	卒業実践 研究 b と合わせて 2 単位	演習	15	必修
実務経験の有無		実務経験(職業等)				

【D P (ディプロマポリシー)】

④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・参考文献や資料を活用し、各自の表現で論文を書くことができる。
- ・実技やフィールドワーク等による実践記録を作成し、諸問題について分析ができる。
- ・卒業実践研究発表会において、実践論文の成果を各自の言葉で報告ができる。

【授業概要】

本研究は、みなさんの興味関心のあるテーマを選定し、「論文研究」と「実践研究」のうちいずれか1つを選択します。「論文研究」は、指導教官のもとで論文を作成し、「実践研究」は、指導教官のもとでフィールドワークや作品制作などを行い、実践記録を作成しながら、実践の習得に努めるものです。1回生の後期に研究のためのアンケートを行い、各自のテーマにより指導教官が発表されます。「論文研究」は、指導教官のもとで資料を集め、文献講読などを行い、論文の骨子、章立てを作成し、論文の執筆を行い仕上げます。「実践研究」は、指導教官のもとでテーマにそって計画的に実践を行い、フィールドワークや作品制作などを通して実践記録にまとめあげます。論文や実践記録の作成の途中で、2回の発表会を行い、その後教務部へ研究題目の提出をします。研究の提出後は、全学合同発表会にて発表を行います(卒業実践研究 b (秋学期) から始めた学生の研究の概要等は、卒業実践研究 a (春学期) に準じます)。

【質疑応答】

指導教官の指示に従い、計画的に研究と実践を進めるようにしてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

主査・副査の評価(40%程度)および発表の審査点(60%程度)による総合評価とします。この演習に関わる日程等については、教務部より資料を配付します。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：

参考文献：

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	卒業実践研究について（教務部ガイダンス）	卒業実践研究の計画を立てる（120）
②	アンケートにより指導教官の発表	指導教官との話し合いをもつ（60）
③	「論文研究」「実践研究」の体裁について	研究に必要な文献・資料等を調べ、「論文研究」か「実践研究」のいずれかを選択して決める（180）
④	研究指導：文献・資料の検索	自分のテーマにそって文献・資料の検索を行う（180）
⑤	研究指導：文献・資料の検索	自分のテーマにそって文献・資料の検索を行う（180）
⑥	研究指導：文献・資料のまとめ	自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
⑦	卒論構想発表	卒論の途中経過についてデジユメを作って発表するので用意する（120）
⑧	研究指導：文献・資料のまとめ *ワードあるいは一太郎の設定の方法 *脚注の作成の方法 *図表等の作成の方法	自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
⑨	研究指導：（論）文献・資料のまとめ （実）実践の計画立案	（論）自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
		（実）実践内容・方法・日程などの計画を立てる（180）
⑩	研究指導：（論）文献・資料のまとめ （実）実践の計画立案	（論）自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
		（実）実践内容・方法・日程などの計画を立てる（180）
⑪	研究指導：（論）文献・資料のまとめ （実）実践とまとめ	（論）自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
		（実）実践を行い、実践記録の作成に必要な情報などをノートにまとめる（180）
⑫	研究指導：（論）文献・資料のまとめ （実）実践とまとめ	（論）論文のテーマにそって構成を考える（120）
		（実）実践を行い、実践記録の作成に必要な情報などをノートにまとめる（180）
⑬	研究指導：（論）文献・資料のまとめ （実）実践とまとめ	（論）論文のテーマにそって構成を考える（120）
		（実）実践を行い、実践記録の作成に必要な情報などをノートにまとめる（180）
⑭	卒論中間発表	卒論の途中経過についてデジユメを作って発表するので用意する（120）
⑮	研究指導：（論）文献・資料のまとめ （実）実践とまとめ	（論）自分のテーマにそった文献・資料を取り寄せて複写し、ノートにまとめる（180）
		（実）実践を行い、実践記録の作成に必要な情報などをノートにまとめる（180）
⑯	休業中	ワードあるいは一太郎を使って、論文あるいは実践記録を実際に作成する（360）

【メモ】

科目名	卒業実践研究 b		担当教員名	各指導教官		
サブタイトル	随所に主となる					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	水曜日・4	卒業実践 研究 a と合わせて 2 単位	演習	15	必修
実務経験の有無		実務経験(職業等)				

【DP (ディプロマポリシー)】

④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・参考文献や資料を活用し、各自の表現で論文を書くことができる。
- ・実技やフィールドワーク等による実践記録を作成し、諸問題について分析ができる。
- ・卒業実践研究発表会において、実践論文の成果を各自の言葉で報告ができる。

【授業概要】

本研究は、卒業実践研究 a を受けて、構想により「論文研究」あるいは「実践研究」を指導教官のもとですすめ、ワードあるいは一太郎ファイルに保存したうえで、A4用紙に印刷し、期限日までに教務部へ論文一式を提出します。その後、全学合同発表会で各自発表を行います(卒業実践研究 b (秋学期) から始めた学生の研究の概要等は、卒業実践研究 a (春学期) に準じます)。

【質疑応答】

指導教官の指示に従い、計画的に研究と実践を進めるようにしてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

主査・副査の評価(40%程度)および発表の審査点(60%程度)による総合評価とします。この演習に関わる日程等については、教務部より資料を配付します。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：

参考文献：

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
②	第1次提出	論文あるいは実践記録の一部を提出する(120)
③	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
④	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑤	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑥	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑦	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑧	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑨	第2次提出	論文あるいは実践記録の一部を提出する(120)
⑩	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑪	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑫	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑬	第3次提出	論文あるいは実践記録の一部を提出する(120)
⑭	研究指導：作成と添削修正	添削された部分を修正する(120)
⑮	実践論文提出	最終訂正を行い、論文一式を整える(120)
⑯	卒業実践論文発表会	発表するための準備をする(120)

【メモ】

科目名	布教学 a			担当教員名	松久宗心	
サブタイトル	仏教との出会いによる目覚め・感動の共有					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	水曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派高等布教師、陽徳寺住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・布教学を学ぶことにより、人の前で自信をもって話することができる。
- ・布教学を学ぶことにより、仏教の基礎を理解し、人に仏教の教えの大切さを伝えることができる。
- ・布教学を学ぶことにより、布教の実践体験を重ね、自己を向上させることができる。

【授業概要】

本授業では、布教における基本的な心構えや方法を学び、通仏教や禅の根本思想・教義を理解し、聴衆に的確に伝えることを基礎とし、通仏教や禅の学習・体験から得た自己の発見・感動を聴衆と共有し、聴衆の宗教的情操を豊かに涵養することを目的とする。そのために、各自の法話を学生同士の互評で切磋し、講師が講評を加える実践体験を全員参加で重ねていく。授業の進度は、学生の習熟度により変更あり。

【質疑応答】

授業内容・資料に対する質疑は、授業中随時受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は定期試験(筆記試験40%)、授業での法話発表(40%)、授業への取り組み姿勢(20%)により行います。なお、授業時間数の5分の1以上の欠席(遅刻・早退は2回で1回の欠席)をすると失格になります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト:毎回資料を配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	布教の心得[1]	【予習】 シラバスを読んで授業の意味を確認する(20)
		【復習】 資料を読んで内容を把握する(70)
②	布教の心得[2]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に自問自答する(30)
③	仏教の基礎—生死 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
④	仏教の基礎—仏道 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑤	仏教の基礎—三宝 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑥	仏教の基礎—縁起 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑦	仏教の基礎—三法印 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑧	仏教の基礎—四諦 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑨	仏教の基礎—八正道 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑩	仏教の基礎—四摂法 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑪	仏教の基礎—六波羅蜜 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑫	仏教の基礎—無財の七施 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑬	仏教の基礎—四無量心 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑭	仏教の基礎—五戒 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑮	仏教の基礎—七仏通戒偈 [布教実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	布教学b			担当教員名	松久宗心	
サブタイトル	禅との出会いによる目覚め・感動の共有					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	水曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派高等布教師、陽徳寺住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・布教学を学ぶことにより、人の前で自信をもって話することができる。
- ・布教学を学ぶことにより、仏教の基礎を理解し、人に仏教の教えの大切さを伝えることができる。
- ・布教学を学ぶことにより、布教の実践体験を重ね、自己を向上させることができる。

【授業概要】

本授業では、布教における基本的な心構えや方法を学び、通仏教や禅の根本思想・教義を理解し、聴衆に的確に伝えることを基礎とし、通仏教や禅の学習・体験から得た自己の発見・感動を聴衆と共有し、聴衆の宗教的情操を豊かに涵養することを目的とする。そのために、各自の法話を学生同士の互評で切磋し、講師が講評を加える実践体験を全員参加で重ねていく。授業の進度は、学生の習熟度により変更あり。

【質疑応答】

授業内容・資料に対する質疑は、授業中随時受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は定期試験(筆記試験40%)、授業での法話発表(40%)、授業への取り組み姿勢(20%)により行います。なお、授業時間数の5分の1以上の欠席(遅刻・早退は2回で1回の欠席)をすると失格になります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト： 毎回資料を配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	布教の心得[1]	【予習】 シラバスを読んで授業の意味を確認する(20)
		【復習】 資料を読んで内容を把握する(70)
②	布教の心得[2]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に自問自答する(30)
③	禅の基礎—五蘊皆空 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
④	禅の基礎—宿世の善根 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑤	禅の基礎—不立文字 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑥	禅の基礎—至道無難 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑦	禅の基礎—妄想を除かず [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑧	禅の基礎—本来無一物 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑨	禅の基礎—平常心是道 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑩	禅の基礎—一日作さざれば [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑪	禅の基礎—日日是好日 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑫	禅の基礎—無事是貴人 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑬	禅の基礎—正念相続 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑭	禅の基礎—衆生無辺誓願度 [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑮	禅の基礎—衆生本来仏なり [法話実習]	【予習】 資料を読んで内容を把握する(60)
		【復習】 資料を基に法話原稿を作る(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	僧侶必携 a			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	宗門人の基礎知識					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	金曜日・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、瑞東寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・ 仏教や禅の基礎知識についての理解を深めることができる。
- ・ 仏教や禅の意義について他者に向かって表現することができる。
- ・ 仏教や禅の知識に即して寺門の運営や檀信徒の教化ができる。

【授業概要】

臨済宗妙心寺派では、寺院の住職となる際『臨済禅ハンドブック』をテキストとして、試験が行われる。これは宗門の基礎知識が網羅されており、檀信徒からの相談や質問に対応できるよう意図されたものである。本講義はこのテキストを中心に講義を行う。また江戸時代に編纂された『雛僧要訓』を用いながら、禅寺で伝統的に重視されてきた小僧教育のテキストの輪読も並行して行う予定である。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(70%)、授業で課する課題の取り組み(30%)の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：妙心寺派宗務本所『臨済禅ハンドブック』(妙心寺派宗務本所) 1000円
 暁山楚軾『雛僧要訓』(プリントを配布)

配布資料：プリントを配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第二版』岩波書店 7560円
 大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編 改訂版』大正大学出版会 1575円
 その他講義中に適宜紹介

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンスと禅語の素読 (講義)	【予習】 シラバスを読む(20)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
②	第1章 宗教について① (講義)	【予習】 テキスト(p1-p2)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
③	第1章 宗教について② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p3-p4)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
④	第2章 仏教概論① (講義)	【予習】 テキスト(p5-p7)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑤	第2章 仏教概論② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p8-p11)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑥	第3章 中国禅宗史① (講義)	【予習】 テキスト(p12-p14)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑦	第3章 中国禅宗史② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p15-p17)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑧	第4章 日本禅宗史① (講義)	【予習】 テキスト(p18-p21)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑨	第4章 日本禅宗史② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p22-p28)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑩	第5章 妙心寺の歴史① (講義)	【予習】 テキスト(p29-p31)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑪	第5章 妙心寺の歴史② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p32-p35)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑫	第6章 禅の教え① (講義)	【予習】 テキスト(p36-p37)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑬	第6章 禅の教え② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p38-p40)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑭	第7章 お経(経典)に学ぶ① (講義)	【予習】 テキスト(p41-p42)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑮	第7章 お経(経典)に学ぶ② (講義と小レポート発表)	【予習および復習】 テキスト(p43-p45)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45) 授業の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	僧侶必携b			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	宗門人の基礎知識					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	金曜日・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、瑞東寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・ 仏教や禅の基礎知識についての理解を深めることができる。
- ・ 仏教や禅の意義について他者に向かって表現することができる。
- ・ 仏教や禅の知識に即して寺門の運営や檀信徒の教化ができる。

【授業概要】

臨済宗妙心寺派では、寺院の住職となる際『臨済禅ハンドブック』をテキストとして、試験が行われる。これは宗門の基礎知識が網羅されており、檀信徒からの相談や質問に対応できるよう意図されたものである。本講義はこのテキストを中心に講義を行う。また江戸時代に編纂された『雛僧要訓』を用いながら、禅寺で伝統的に重視されてきた小僧教育のテキストの輪読も並行して行う予定である。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(70%)、授業で課する課題の取り組み(30%)の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：妙心寺派宗務本所『臨済禅ハンドブック』(妙心寺派宗務本所) 1000円
 暘山楚軾『雛僧要訓』(プリントを配布)

配布資料：プリントを配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第二版』岩波書店 7560円
 大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編 改訂版』大正大学出版会 1575円
 その他講義中に適宜紹介

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンスと禅語の素読 (講義)	【予習】 シラバスを読む(20)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
②	第8章 伝統行事に学ぶ① (講義)	【予習】 テキスト(p46-p47)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
③	第8章 伝統行事に学ぶ② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p48-p49)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
④	第9章 禅の文化① (講義)	【予習】 テキスト(p50-p52)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑤	第9章 禅の文化② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p53-p54)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑥	第9章 禅の文化③ (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p55-p56)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑦	第10章 仏教用語① (講義)	【予習】 テキスト(p57-p58)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑧	第10章 仏教用語② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p58-p59)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑨	第10章 仏教用語③ (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p60)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑩	第11章 禅語に学ぶ① (講義)	【予習】 テキスト(p61-p63)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑪	第11章 禅語に学ぶ② (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p64-p66)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑫	第11章 禅語に学ぶ③ (講義と小レポート発表)	【予習】 テキスト(p66-p69)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑬	人権① (講義)	【予習】 人権テキスト(p1-p2)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑭	人権② (講義と小レポート発表)	【予習】 人権テキスト(p3-p5)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑮	人権③ (講義と小レポート発表)	【予習および復習】 人権テキスト(p6-p8)の読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		授業の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	坐禅 I a / II a			担当教員名	青井有信・フォーマルスアタレ	
サブタイトル	日常生活に坐禅を取り入れてみましょう。					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1 / 2	春	木曜日・2	1	実習	22.5	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	青井/妙心寺派僧侶、瑞雲寺住職 フォーマルス アタレ/正眼寺雲水			

【D P (ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・よりよく生きるための手段として坐禅を習慣づけ、実践的な禅について理解を深めることができる。
- ・坐禅の方法、心構え、心の置き様を実践で身に付け経験を重ねることにより、坐禅指導者として企業・団体研修等の場で活躍することができる。
- ・禅の心を理解し日本文化について、より理解を深めることができる。

【授業概要】

坐禅の実践により日常を断ち切り理屈や分別を離れ、今この瞬間を経験する。禅堂内での立居振舞や作法、礼儀を身に付ける。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業後に受け付けますので聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

授業に取り組む姿勢(30%程度)とレポートまたは筆記試験(70%程度)によって単位認定評価をします。授業時数は5分の1以上の欠席で不合格。遅刻、早退は2回で1回の欠席とします。
※7.5コマ不足分は、朝課、晩課、摂心晩課、緑蔭講座準備等の参加により補います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』(臨済宗妙心寺派宗務本所)

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	坐禅の心構えと準備 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
②	禅堂でのマナーと心得 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
③	単への上がり方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
④	足の組み方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑤	手の組み方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑥	口と目の作法 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑦	姿勢の調べ方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑧	息の調べ方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑨	心の調べ方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑩	警策の受け方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑪	経行の仕方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑫	坐禅の終わり方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑬	椅子坐禅の坐り方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑭	実践と法話 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑮	実践と法話 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	坐禅 I b / II b			担当教員名	青井有信・フォルムスアタレ	
サブタイトル	日常生活に坐禅を取り入れてみましょう。					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1 / 2	秋	木曜日・2	1	実習	22.5	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	青井/妙心寺派僧侶、瑞雲寺住職 フォルムス アタレ/正眼寺雲水			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・よりよく生きるための手段として坐禅を習慣づけ、実践的な禅について理解を深めることができる。
- ・坐禅の方法、心構え、心の置き様を実践で身に付け経験を重ねることにより、坐禅指導者として企業・団体研修等の場で活躍することができる。
- ・禅の心を理解し日本文化について、より理解を深めることができる。

【授業概要】

坐禅の実践により日常を断ち切り理屈や分別を離れ、今この瞬間を経験する。禅堂内での立居振舞や作法、礼儀を身に付ける。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業後に受け付けますので聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

授業に取り組む姿勢(30%程度)とレポートまたは筆記試験(70%程度)によって単位認定評価をします。授業時数は5分の1以上の欠席で不合格。遅刻、早退は2回で1回の欠席とします。
※7.5コマ不足分は、朝課、晩課、摂心晩課、清大寺大摂心等の参加により補います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』(臨済宗妙心寺派宗務本所)

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	坐禅の心構えと準備 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
②	禅堂でのマナーと心得 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
③	単への上がり方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
④	足の組み方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑤	手の組み方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑥	口と目の作法 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑦	姿勢の調べ方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑧	息の調べ方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑨	心の調べ方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑩	警策の受け方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑪	経行の仕方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑫	坐禅の終わり方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑬	椅子坐禅の坐り方 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑭	実践と法話 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑮	実践と法話 (実習)	【予習】 身の回りを整頓し体調を調べておく (30)
		【復習】 授業の反省 (30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	作務 I a / II a			担当教員名	フォルムス アタレ	
サブタイトル	動く坐禅					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1 / 2	春	木曜日・1	1	実習	22.5	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	正眼僧堂雲水			

【D P (ディプロマポリシー)】

③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・個人に与えられた作務を最後までやり遂げることができる。
- ・作務を実行中、作務に成りきることができる。
- ・合同で作務を行っているときに他者と協調することができる。

【授業概要】

禅は行住坐臥全てが修行であると説く。日常の雑務や労働など全てを修行と考える。作務は、禅的生活の本質を持ち、坐禅止静で得たものを実生活の場に適應するものです。白隠禅師は「動中の工夫は静中の工夫に勝ること百千万倍す」との語を残され、体を動かしながら心はひたすらに禅の探求に向けなければならない。この授業では、行ずることによって自己の内面に気づき活き活きと表現できることを目的とし学ぶものです。なお行事や天候等の都合により内容が変更することがあります。

【質疑応答】

理解できない内容については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

正眼緑蔭講座負担（7.5コマ分）に必ず参加すること。（欠席するとコマ数が足りなくなります。）授業へ取り組む姿勢（50%）と筆記試験（50%）によって単位を認定評価します。授業時数の5分の1の欠席で不合格。遅刻、早退は、2回で1回の欠席となります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：適時指示

参考文献：『雲水日記－絵で見る禅の修行生活』佐藤義英 禅文化研究所 廉価版 1620 円

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	講義（作務の意義・進めかた等の説明）	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	学内清掃・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
③	畑（園頭）作務、耕作、種まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
④	学内清掃・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑤	剪定・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑥	梅干し作り	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑦	学内清掃・内掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑧	畑（園頭）作務、耕作、水まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑨	籾作り	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑩	学内清掃・溝掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑪	畑（園頭）作務、耕作、水まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑫	畑（園頭）作務、耕作、水まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑬	竹細工	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑭	学内清掃・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑮	学内清掃・内掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	作務 I b / II b			担当教員名	フォルムス アタレ	
サブタイトル	動く坐禅					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1 / 2	秋	木曜日・1	1	実習	22.5	必修
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	正眼僧堂雲水			

【DP (ディプロマポリシー)】

③建学の精神（行学一体）を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性を持ち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・個人に与えられた作務を最後までやり遂げることができる。
- ・作務を実行中、作務に成りきることができる。
- ・合同で作務を行っているときに他者と協調することができる。

【授業概要】

禅は行住坐臥全てが修行であると説く。日常の雑務や労働など全てを修行と考える。作務は、禅的生活の本質を持ち、坐禅止静で得たものを実生活の場に適應するものです。白隠禅師は「動中の工夫は静中の工夫に勝ること百千万倍す」との語を残され、体を動かしながら心はひたすらに禅の探求に向けなければならない。この授業では、行ずることによって自己の内面に気づき生き活きと表現できることを目的とし学ぶものです。なお行事や天候等の都合により内容が変更することがあります。

【質疑応答】

理解できない内容については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

正眼寺開山忌荷担（7.5コマ分）に必ず参加すること。（欠席するとコマ数が足りなくなります。）授業へ取り組む姿勢（50%）と筆記試験（50%）によって単位を認定評価します。授業時数の5分の1の欠席で不合格。遅刻、早退は、2回で1回の欠席となります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：適時指示

参考文献：『雲水日記－絵で見る禅の修行生活』佐藤義英 禅文化研究所 廉価版 1620 円

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	講義（作務の意義・進めかた等の説明）	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	学内清掃・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
③	畑（園頭）作務、耕作、種まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
④	学内清掃・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑤	剪定・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑥	わらじ作り	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑦	学内清掃・内掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑧	畑（園頭）作務、耕作、水まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑨	籾作り	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑩	学内清掃・溝掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑪	畑（園頭）作務、耕作、水まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑫	畑（園頭）作務、耕作、水まき	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑬	沢庵漬け	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑭	学内清掃・外掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 授業内容を振り返り、気づいた点を文章にまとめる(30)
⑮	学内清掃・内掃除	【予習】 参考文献で、授業内容について調べる(30)
		【復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅の作法と心得 a			担当教員名	フォーマルス アタレ	
サブタイトル	禅の実践					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	月曜日・1	1	演習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	正眼僧堂雲水			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅の修行における作法を習得して実践することができる。
- ・禅の作法を実践しながら、他と強調して行動することができる。
- ・禅の心得を理解し、自分の人生や生活に応用することができる。

【授業概要】

禅の修行は長い歴史の中で、修行道場で培われた。本学では、禅の基本と建学の精神「行学一体」を学生生活の中に取り入れ、僧堂入門や僧侶育成を見据えて学生生活表やカリキュラムを組んでいる。本授業では、合掌などの基本作法、経や回向の読誦、食事作法などの実習を中心に学ぶものである。僧侶の道を目指さない学生であっても、禅の作法を習得してその心得を理解しこれからの人生に生かして頂きたい。

【質疑応答】

理解できない内容については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

経典暗唱試験（般若心経、大悲咒、消災咒、開甘露門、飯台座経）50%、持鉢展鉢試験 20%、授業取り組み 30%で単位を認定する。なお、授業時数の5分の1以上欠席(遅刻・早退は2回で1回の欠席)すると試験受験資格を失う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：禅語および禅の用語をプリントして配布する。

参考文献：『江湖法式梵唄抄』監修 加藤隆芳・水野泰嶺・森弘宗 編集 法式梵唄刊行会
禅文化研究所刊 16,000円
『臨濟宗納観』伊藤古鑑 其中堂刊 3,500円

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	オリエンテーション a : 合掌、叉手、拝作法 (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	禅の作法 a : 低頭、問訊、坐禅堂内作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
③	食事作法 a : 持鉢作法、食事作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
④	飯台看法 a (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑤	経典読誦作法 a : 声の出し方 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑥	経典読誦作法 a : 維那作法、回向作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑦	茶礼作法 a : 供茶、総茶礼作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑧	禅宗鳴らし物作法 a : 支度と出頭 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑨	拝敷作法 a : 拝敷、座具展開作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑩	法鼓作法 a : 法鼓出頭の打ち方 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑪	経典読誦作法 a : 大悲咒平拳、楞嚴咒 1 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑫	経典読誦作法 a : 大悲咒平拳、楞嚴咒 2 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑬	特為茶作法 a : 縁高、天目台作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑭	衣畳作法 a : 着物・衣のたたみ方 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑮	施餓鬼作法 a : 水向け作法、焼香作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅の作法と心得 b			担当教員名	フォーマルス アタレ	
サブタイトル	禅の実践					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	月曜日・1	1	演習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	正眼僧堂雲水			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅の修行における作法を習得して実践することができる
- ・禅の作法を実践しながら、他と強調して行動することができる。
- ・禅の心得を理解し、自分の人生や生活に応用することができる。

【授業概要】

禅の修行は長い歴史の中で、修行道場で培われた。本学では、禅の基本と建学の精神「行学一体」を学生生活の中に取り入れ、僧堂入門や僧侶育成を見据えて学生生活表やカリキュラムを組んでいる。本授業では、合掌などの基本作法、経や回向の読誦、食事作法などの実習を中心に学ぶものである。僧侶の道を目指さない学生であっても、禅の作法を習得してその心得を理解しこれからの人生に生かして頂きたい。

【質疑応答】

理解できない内容については、授業後受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

経典暗唱試験（般若心経、大悲咒、消災咒、開甘露門、飯台座経）50%、持鉢展鉢試験 20%、授業取り組み 30%で単位を認定する。なお、授業時数の5分の1以上欠席(遅刻・早退は2回で1回の欠席)すると試験受験資格を失う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：禅語および禅の用語をプリントして配布する。

参考文献：『江湖法式梵唄抄』監修 加藤隆芳・水野泰嶺・森弘宗 編集 法式梵唄刊行会
禅文化研究所刊 16,000円
『臨濟宗納観』伊藤古鑑 其中堂刊 3,500円

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	オリエンテーションb：合掌、叉手、拝作法 (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	禅の作法b：低頭、問訊、坐禅堂内作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
③	食事作法b：持鉢作法、食事作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
④	飯台看法b (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑤	経典読誦作法b：声の出し方 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑥	経典読誦作法b：維那作法、回向作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑦	茶礼作法b：供茶、総茶礼作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑧	禅宗鳴らし物作法b：支度と出頭 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑨	拝敷作法b：拝敷、座具展開作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑩	法鼓作法b：法鼓出頭の打ち方 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑪	経典読誦作法b：大悲咒平拳、楞嚴咒1 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑫	経典読誦作法b：大悲咒平拳、楞嚴咒2 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑬	特為茶作法b：縁高、天目台作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑭	衣畳作法b：着物・衣のたたみ方 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ。学んだ作法を繰り返し練習し覚える(60)
⑮	施餓鬼作法b：水向け作法、焼香作法 (講義・実習)	【予習】 禅語および禅の用語を調べる(60)
		【復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	仏教学 a			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	最古の仏教経典を理解しよう					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	金曜日・1	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、瑞東寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・インド初期仏教や基本的な仏教思想の形成の流れと特徴を説明できる。
- ・基本的な仏教思想と禅宗の教義の共通点を説明できる。
- ・平易な言葉で仏教思想を説明し、実践に生かしていけるように考察できる。

【授業概要】

本授業では、仏教最古の経典のひとつである『真理のことは』を扱う。『ダンマパダ』(法句経)とよばれ、仏陀存世時代の思想を色濃く残し、仏教の原点回帰を目指す禅宗教義と共通点も多い。授業では南伝仏教に残っている因縁話(アッタカタ)を中心に、ブッダがどのような背景で、そのことは述べたか考察することにより、初期仏教と禅宗の思想の相異、共通点を探りたい。今年度は、昨年を引き続き、第11章「老いること」から始める。授業の進度は学生の習熟度により若干の変更あり。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(70%)、授業で課する課題の取り組み(30%)の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：中村元『ブッダの真理のことは 感興のことは』(岩波文庫) 1220円

配布資料：プリント配布します。

参考文献：ウ・ヴィッジャーナング大長老監修 北嶋泰観訳注『パーリ語仏典 ダンマパダ』(中山書房仏書林) 22000円

片山一良『ダンマパダ全詩解説 仏祖の学ぶひとすじの道』(大蔵出版) 9720円

及川真介『仏の真理のことは註』(1)～(4) (春秋社) 各 16000円前後

他、授業中に適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	真理のことは (ダンマパダ) とはなにか (講義)	【予習】 シラバスを読む(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	ダンマパダ読解 第11章 老いること① (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(146 偈~156 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
③	ダンマパダ読解 第11章 老いること② (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(146 偈~156 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
④	ダンマパダ読解 第11章 老いること③ (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(146 偈~156 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑤	ダンマパダ読解 第12章 自己① (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(157 偈~166 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑥	ダンマパダ読解 第12章 自己② (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(157 偈~166 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑦	ダンマパダ読解 第12章 自己③ (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(157 偈~166 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑧	ダンマパダ読解 第13章 世の中① (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(167 偈~178 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑨	ダンマパダ読解 第13章 世の中② (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(167 偈~178 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑩	ダンマパダ読解 第13章 世の中③ (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(167 偈~178 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑪	ダンマパダ読解 第14章 ブッダ① (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(179 偈~196 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑫	ダンマパダ読解 第14章 ブッダ② (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(179 偈~196 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑬	ダンマパダ読解 第14章 ブッダ③ (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(179 偈~196 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑭	ダンマパダ読解 第14章 ブッダ④ (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(179 偈~196 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑮	ダンマパダ読解 第14章 ブッダ⑤ まとめ (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(179 偈~196 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	仏教学b			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	最古の仏教経典を理解しよう					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	金曜日・1	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、瑞東寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・インド初期仏教や基本的な仏教思想の形成の流れと特徴を説明できる。
- ・基本的な仏教思想と禅宗の教義の共通点を説明できる。
- ・平易な言葉で仏教思想を説明し、実践に生かしていけるように考察できる。

【授業概要】

本授業では、仏教最古の経典のひとつである『真理のことは』を扱う。『ダンマパダ』(法句経)とよばれ、仏陀存世時代の思想を色濃く残し、仏教の原点回帰を目指す禅宗教義と共通点も多い。授業では南伝仏教に残っている因縁話(アッタカタ)を中心に、ブッダがどのような背景で、そのことはを述べたか考察することにより、初期仏教と禅宗の思想の相異、共通点を探りたい。秋学期は、春学期の続きから始める。授業の進度は学生の習熟度により若干の変更あり。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(70%)、授業で課する課題の取り組み(30%)の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：中村元『ブッダの真理のことは 感興のことは』(岩波文庫) 1220円

配布資料：プリント配布します。

参考文献：ウ・ヴィッジャーナング大長老監修 北嶋泰観訳注『パーリ語仏典 ダンマパダ』(中山書房仏書林) 22000円

片山一良『ダンマパダ全詩解説 仏祖の学ぶひとすじの道』(大蔵出版) 9720円

及川真介『仏の真理のことは註』(1)～(4)(春秋社)各16000円前後

他、授業中に適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	真理のことは (ダンマパダ) とはなにか (講義)	【予習】 シラバスを読む (20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
②	ダンマパダ読解 第15章 楽しみ① (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(197 偈~208 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
③	ダンマパダ読解 第15章 楽しみ② (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(197 偈~208 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
④	ダンマパダ読解 第15章 楽しみ③ (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(197 偈~208 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑤	ダンマパダ読解 第16章 愛するもの① (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(209 偈~220 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑥	ダンマパダ読解 第16章 愛するもの② (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(209 偈~220 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑦	ダンマパダ読解 第16章 愛するもの③ (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(209 偈~220 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑧	ダンマパダ読解 第17章 怒り① (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(221 偈~234 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑨	ダンマパダ読解 第17章 怒り② (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(221 偈~234 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑩	ダンマパダ読解 第17章 怒り③ (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(221 偈~234 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑪	ダンマパダ読解 第18章 汚れ① (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(235 偈~255 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑫	ダンマパダ読解 第18章 汚れ② (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(235 偈~255 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑬	ダンマパダ読解 第18章 汚れ③ (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(235 偈~255 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑭	ダンマパダ読解 第18章 汚れ④ (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(235 偈~255 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑮	ダンマパダ読解 第18章 汚れ⑤ (講義・史料講読)	【予習】 テキスト(235 偈~255 偈)と配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる (45)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅学 a			担当教員名	池田 丈明	
サブタイトル	一休宗純と中世後期社会					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	木曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、利海寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・自ら問題を発見できる。
- ・文献解読により問題解決できる。
- ・議論の方法を身につけることができる。

【授業概要】

禅宗教義を考えていくために、室町期を生きた禅僧一休宗純に注目し、その履歴を弟子たちが年代順に編纂した『東海一休和尚年譜』を輪読します。担当者はその内容要約を行うとともに問題を提起し、報告内容について全員で議論します。

本科目は、黒田俊雄氏提唱の「顕密体制論」以降、課題として残されている中世仏教のあり方、とくに禅と顕密の関係を考察することにも、きっとつながっていくはずです。

【質疑応答】

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(筆記試験40%程度)と報告内容(30%)、議論への参加(30%)で成績を評価します。なお、授業時数の5分の1以上欠席すると、筆記試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『東海一休和尚年譜』(平野宗浄「一休和尚年譜の研究」(『禅文化研究所紀要』七、1975年))。

同書は真珠庵蔵本(真珠庵二十四世南山宗寿直筆写本)を底本としたものです。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	『東海一休和尚年譜』 応永元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	『東海一休和尚年譜』 応永十二年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	『東海一休和尚年譜』 応永十七年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	『東海一休和尚年譜』 応永十九年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	『東海一休和尚年譜』 応永二十二年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	『東海一休和尚年譜』 応永二十三年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	『東海一休和尚年譜』 応永二十五年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	『東海一休和尚年譜』 応永二十七年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	『東海一休和尚年譜』 応永二十九年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	『東海一休和尚年譜』 応永三十年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	『東海一休和尚年譜』 応永三十四年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	『東海一休和尚年譜』 正長元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	『東海一休和尚年譜』 永享四年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅学b			担当教員名	池田丈明	
サブタイトル	一休宗純と中世後期社会					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	木曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、利海寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・自ら問題を発見できる。
- ・文献解読により問題解決できる。
- ・議論の方法を身につけることができる。

【授業概要】

禅宗教義を考えていくために、室町期を生きた禅僧一休宗純に注目し、その履歴を弟子たちが年代順に編纂した『東海一休和尚年譜』を輪読します。担当者はその内容要約を行うとともに問題を提起し、報告内容について全員で議論します。

本科目は、黒田俊雄氏提唱の「顕密体制論」以降、課題として残されている中世仏教のあり方、とくに禅と顕密の関係を考察することにも、きっとつながっていくはずです。

【質疑応答】

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(筆記試験40%程度)と報告内容(30%)、議論への参加(30%)で成績を評価します。なお、授業時数の5分の1以上欠席すると、筆記試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『東海一休和尚年譜』(平野宗浄「一休和尚年譜の研究」(『禅文化研究所紀要』七、1975年))。

同書は真珠庵蔵本(真珠庵二十四世南山宗寿直筆写本)を底本としたものです。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	『東海一休和尚年譜』永享八年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	『東海一休和尚年譜』嘉吉元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	『東海一休和尚年譜』文安元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	『東海一休和尚年譜』文安四年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	『東海一休和尚年譜』宝徳三年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	『東海一休和尚年譜』享徳三年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	『東海一休和尚年譜』長禄元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	『東海一休和尚年譜』長禄三年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	『東海一休和尚年譜』寛正元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	『東海一休和尚年譜』寛正二年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	『東海一休和尚年譜』応仁元年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	『東海一休和尚年譜』文明六年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	『東海一休和尚年譜』文明十年条～ (輪読)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本文化 a			担当教員名	鈴木重喜	
サブタイトル	元禄時代の武士の生活からみる江戸文化					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	金曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・江戸時代の社会や文化についての認識や理解を深めることができる。
- ・江戸時代の社会や文化について討論できる。
- ・古文を読み解釈することができる。

【授業概要】

本授業では、朝日文左衛門重章の日記『鸚鵡籠中記』を講読します。重章は、尾張藩城代組の100石取りの武士で、貞享元年(1684)から享保2年(1717)まで34年間に渡る日記筆録を残しています。この講読を通して、現代人の生活文化の起点である元禄時代を考えます。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

筆記試験による成績が評価の基本であり、受講生の授業への取り組みも平常点として加味します。その割合は筆記試験70%程度、授業への取り組み30%程度とします。

※あわせて秋学期開講の「日本文化b」も履修すると、より理解がしやすくなります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：プリントを配布します。受講生は、史料講読に必要な漢和辞典、国語辞典を持参してください。

参考書：神坂次郎『元禄御畳奉行の日記 尾張藩士の見た浮世』(中央公論社 1984)

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	江戸時代の文章を読む① (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する (20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
②	江戸時代の文章を読む② (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する (30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
③	尾張藩と城代組番士朝日重章 (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する (30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
④	元禄5年壬申の日記 (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑤	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑥	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑦	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑧	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑨	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑩	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑪	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑫	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑬	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑭	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認 (120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本文化b			担当教員名	鈴木重喜	
サブタイトル	元禄時代の武士の生活からみる江戸文化					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	金曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・江戸時代の社会や文化についての認識や理解を深めることができる。
- ・江戸時代の社会や文化について討論できる。
- ・古文を読み解釈することができる。

【授業概要】

本授業では、朝日文左衛門重章の日記『鸚鵡籠中記』を講読します。重章は、尾張藩城代組の100石取りの武士で、貞享元年(1684)から享保2年(1717)まで34年間に渡る日記筆録を残しています。この講読を通して、現代人の生活文化の起点である元禄時代を考えます。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

筆記試験による成績が評価の基本であり、受講生の授業への取り組みも平常点として加味します。その割合は筆記試験70%程度、授業への取り組み30%程度とします。

※あわせて春学期開講の「日本文化a」も履修すると、より理解がしやすくなります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：プリントを配布します。受講生は、史料講読に必要な漢和辞典、国語辞典を持参してください。

参考書：神坂次郎『元禄御畳奉行の日記 尾張藩士の見た浮世』(中央公論社 1984)

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	江戸時代の文章を読む① (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する (20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
②	江戸時代の文章を読む② (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する (30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
③	尾張藩と城代組番士朝日重章 (講義)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する (30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
④	元禄6年癸酉の日記 (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑤	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑥	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑦	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑧	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑨	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑩	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑪	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑫	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑬	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑭	" (読解文作成・発表)	【予習】 日記の書き下し文と現代語訳文を作成する (60)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ (60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認 (120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	宗教思想 a			担当教員名	宇佐美 之 規	
サブタイトル	仏教の目的、自力聖道門と他力浄土門					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	火曜日・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・自力と他力について知ることができる。
- ・禅と浄土の思想について学習しその相違点と類似性について考察することができる。
- ・仏教思想の教義の多様性について理解することができる。

【授業概要】

宗教思想の中の仏教には、さまざまな教えが展開されている。その中で「禅宗」と「浄土真宗」の二つの宗派がある。この二つの宗派は、「自力」と「他力」という対照的な教えを説いているのが特徴であるが、同時に、「禅と念仏」「禅念一如」という表現もされる、本講義では、この二つの宗教思想について研究します。

【質疑応答】

質問は講義中、講義終了後、オフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 60%、授業への取組み及び受講態度 20%、レポート 20%。また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：必要な資料は、担当者の方でコピーし配布します。

参考文献：文献等については、講義中に適時紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	佛教について1 (講義)	【予習】 仏教について考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
②	佛教について2 (課題)	【予習】 宗派について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
③	佛教の伝来1 (講義)	【予習】 仏教の教義について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
④	佛教の伝来2 (講義)	【予習】 仏教と神道との関係について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑤	佛教の伝来3 (講義)	【予習】 鎮護国家と加持祈祷について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑥	佛教の伝来4 (講義)	【予習】 仏教が興隆したことについて理由を考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑦	禅の思想1 (課題)	【予習】 禅の修行について考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑧	禅の思想2 (講義)	【予習】 禅の悟りについて考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑨	禅の思想3 (講義)	【予習】 坐禅の目的について考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑩	禅の思想4 (講義)	【予習】 坐禅の悟りについて考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑪	浄土の思想1 (課題)	【予習】 念仏についてその意義を考えてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑫	浄土の思想2 (課題)	【予習】 厭離穢土・欣求浄土について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑬	浄土の思想3 (講義)	【予習】 妙好人について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑭	浄土の思想4 (講義)	【予習】 阿弥陀如来について調べてくること(60)
		【復習】 授業内容をまとめる(30)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまで扱った内容をよく整理すること(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	宗教思想b			担当教員名	宇佐美之規	
サブタイトル	宗教の定義					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	火曜日・2	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・宗教とReligionの語義について研究し理解を深め説明することができる。
- ・仏教とキリスト教について、その思想について理解を深めることができる。
- ・布教についての思想の違いについて学習し理解を深め説明することができる。

【授業概要】

日本には、さまざま宗教と名の付く教えが存在するが、その宗教の定義について、様々な研究者の定義についての考えを踏まえて研究し、更に、日本に伝来した宗教である仏教とキリスト教の二つに絞り、その影響について研究します。

【質疑応答】

質問は講義中、講義終了後、オフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験 60%、授業への取組み及び受講態度 20%、レポート 20%。また、授業の5分の1以上欠席すると、定期試験の受験資格がなくなりますので、注意して下さい。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：必要な資料は、担当者の方でコピーし配布します。

参考文献：文献等については、講義中に適時紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	宗教とは (講義)	【予習】 宗教について考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
②	日本における宗教意識 (講義・課題作成)	【予習】 日本人の宗教の捉え方について考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
③	宗教の定義について1 (講義)	【予習】 宗教の定義について考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
④	宗教の定義について2 (講義)	【予習】 西欧の思想家の考えを調べてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑤	宗教の定義について3 (講義)	【予習】 日本の思想家の考えを調べてくる (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑥	西欧の思想家の宗教の定義について1 (講義)	【予習】 エリアーデの定義について調べてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑦	西欧の思想家の宗教の定義について2 (講義)	【予習】 シュライエルマッハーの定義について調べてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑧	日本の思想家の宗教の定義について1 (講義)	【予習】 鈴木大拙の定義について調べてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑨	日本の思想家の宗教の定義について2 (講義)	【予習】 西田幾多郎の定義について調べてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑩	宗教と Religion 1 (講義)	【予習】 日本語の宗教の意味について考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑪	宗教と Religion 2 (講義)	【予習】 Religion の意味について調べてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑫	キリスト教の伝来1 (講義)	【予習】 キリスト教という宗教について考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑬	キリスト教の伝来2 (講義)	【予習】 日本での伝道について調べてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑭	キリスト教の伝来3 (講義)	【予習】 キリスト教が世界に広まったことについて考えてくること (60)
		【復習】 授業内容をまとめる (30)
⑮	まとめ	【予習および復習】 これまで扱った内容をよく整理すること (120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	仏教福祉 a			担当教員名	今村敬子	
サブタイトル	現代に生きる仏教社会福祉の役割					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	火曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・現代社会における社会的実態と仏教社会福祉思想の必要性を理解し実践することができる。
- ・現代社会における仏教社会福祉の諸問題について考察することができる。
- ・現代社会において仏教社会福祉精神の核である慈悲のこころを育て、実際の日常生活において実践することができる。

【授業概要】

本講義は、過去に築かれた慈善、救済、感化、援護、援助などの概念の定義から、貧困や困窮を社会問題としてとらえる科学的視点から現実的・具体的な科学的認識によって組織化されるソーシャルワークの可能性が追求され始めたことの講義と実践編である。

【質疑応答】

授業時間内およびオフィスアワーに受け付けますので遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

毎回の課題に対する小レポート、定期試験 60%、取り組み態度(意欲) 40%をもって評価を行う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『仏教社会福祉入門』2014 日本仏教社会福祉学会 (株) 法蔵館

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	仏教社会福祉とは何か(講義)	【予習】 シラバスを読み授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業の確認として課題プリントを作成する(60)
②	仏教社会福祉のあゆみ(講義)	【予習】 テキストを読み授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業の把握として課題プリント作成し次時に提出(60)
③	仏教社会福祉の支援と担い手(講義)	【予習】 テキストを読み授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業の把握として課題プリント作成し次時に提出(60)
④	"	【予習】 テキストを読み授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業の把握として課題プリント作成し次時に提出(60)
⑤	美濃加茂市支援教室(実践)(短大内)	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑥	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑦	富加町ふれあいステージ 第1日目(富加町役場)	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑧	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑨	富加町ふれあいステージ 第2日目(富加町役場)	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑩	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑪	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑫	ブラジル子ども交流 セタ会(短大内)	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑬	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑭	"	【予習】 本時の活動目的および活動内容を把握する(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑮	反省会	【予習】 今学期の活動内容の反省レポートを作成する
		【復習】 それぞれの活動計画と実践の反省、意見交換(60)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	仏教福祉b			担当教員名	今村敬子	
サブタイトル	仏教の精神力の一つである慈悲は社会福祉活動の源泉である。					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	火曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。④主体的自己を確立することにより、さまざまな問題を分析し解決することができる能力を身につけている。

【到達目標】

- ・現代社会における社会的実態と仏教社会福祉思想の必要性を理解し実践することができる。
- ・現代社会における仏教社会福祉の諸問題について考察することができる。
- ・現代社会において仏教社会福祉精神の核である慈悲のこころを育て、実際の日常生活において実践することができる。

【授業概要】

近年の高齢社会における社会福祉制度・施設等の外枠事業の充実化は改善されてきているが、内枠である『福祉のこころ』の教育は追いついていない。『福祉のこころ』とは、思想概念ではなく、一人ひとりが個々の心の中にある問題意識のありかたにたどりつくことが必要である。地域福祉事業は自律的に生きようとする者の援助・介護・手助けの役割を担うことから仏教精神をもって地域活動に参加することが問題解決への第一歩と考える。

【質疑応答】

授業時間内およびオフィスアワーに受け付けますので遠慮なく聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

毎回の課題に対する小レポート、定期試験 60%、取り組み態度(意欲) 40%をもって評価を行う。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『仏教社会福祉入門』2014 日本仏教社会福祉学会 (株)法蔵館

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	現代に生きる仏教福祉（講義）	【予習】 シラバスを読んで内容を把握(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	美濃加茂市学習支援教室（短大内）	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
③	”	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
④	美濃加茂市環境フェア（ぎふ清流里山公園）	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑤	”	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑥	”	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑦	美濃加茂社協さわやかフェスティバル	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑧	”	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑨	富加町民まつり第1日目（富加町役場）	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑩	”	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑪	富加町民まつり第2日目（富加町役場）	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑫	”	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑬	ブラジル子供交流クリスマス会（短大内）	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑭	”	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑮	”	【予習】 本時の活動目的と内容を把握(20)
		【復習】 活動内容の反省事項レポート作成(60)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅宗經典 a			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	禅宗經典語録の解説					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	月曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、瑞東寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅宗の經典の内容を理解し説明することができる。
- ・仏教と禅の思想の差異を理解し、その特徴を説明することができる。
- ・禅仏教の思想が、現代人の諸問題解決にどう役立つか考察することができる。

【授業概要】

本授業では、禅宗初祖達磨大師の作とされる『二入四行論』の読解を行う。本来禅籍の読解は、原典テキストを中心に、詳しく漢文の語彙などを把握した上で講読することが望ましいが、当授業では現代語訳を中心に、比較的平易な形で禅思想の概要を学ぶことを主眼としたい。中国北朝時代の大乗仏教思想を色濃く残し、禅宗の萌芽とされるこの文献を講読することによって、禅仏教の根底にある大乗仏教の思想解明を目的とする。授業の進度は学生の習熟度により若干の変更あり。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験（70%）、授業で課する課題の取り組み（30%）の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：柳田聖山『禅の語録1 達磨の語録 二入四行論』（筑摩書房）

配布資料：プリント配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第二版』岩波書店 7560円

大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編 改訂版』大正大学出版会 1575円

駒澤大学内禅学大辞典編纂所『新版禅学大辞典』大修館書店 27000円

また、多くの辞書類から仏教用語を調べる習慣をつけることが望ましい。その他必要な文献については、講義中に適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス 『二入四行論』とは	【予習】 シラバスを読む(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	『二入四行論』講読 (1) ダルマの小伝 (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
③	『二入四行論』講読 (2) 二つの立場、四つの実践 (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
④	『二入四行論』講読 (3) 仲間の手紙 (1) (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑤	『二入四行論』講読 (4) 仲間の手紙 (2) (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑥	『二入四行論』講読 (5) 仏たちが空の道理を主張するのは (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑦	『二入四行論』講読 (6) 般若の論理 (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑧	『二入四行論』講読 (7) 虚無主義を批判する (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑨	『二入四行論』講読 (8) 三蔵法師のことば (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑩	『二入四行論』講読 (9) 仏心とは何か (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑪	『二入四行論』講読 (10) 三宝について (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑫	『二入四行論』講読 (11) 空虚なおちつき (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑬	『二入四行論』講読 (12) 男女のすがた (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑭	『二入四行論』講読 (13) 本当のめざめ (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑮	『二入四行論』講読 (14) 道を修める手だて (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅宗經典b			担当教員名	水野和彦	
サブタイトル	禅宗經典語録の解説					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	月曜日・3	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、瑞東寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅宗の經典の内容を理解し説明することができる。
- ・仏教と禅の思想の差異を理解し、その特徴を説明することができる。
- ・禅仏教の思想が、現代人の諸問題解決にどう役立つか考察することができる。

【授業概要】

本授業では、中国明代の禅僧雲棲株宏禅師の『禅関策進』の読解を行う。本来禅籍の読解は、原典テキストを中心に、詳しく漢文の語彙などを把握した上で講読することが望ましいが、当授業では現代語訳を中心に、比較的平易な形で禅思想の概要を学ぶことを主眼としたい。白隠禅師も重宝したとされる、宋以降の禅浄一致の句を集めるこの文献を講読することによって、現代の禅仏教の根底にある中国の思想解明を目的とする。授業の進度は学生の習熟度により若干の変更あり。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、授業中適宜、あるいはオフィスアワーの時間に受け付けます。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験（70%）、授業で課する課題の取り組み（30%）の割合で行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：藤吉慈海『禅の語録19 禅関策進』（筑摩書房）

配布資料：プリント配布します。

参考文献：中村元編集『岩波仏教辞典第二版』岩波書店 7560円

大正大学仏教学科編『お坊さんも学ぶ仏教学の基礎①インド編 改訂版』大正大学出版会 1575円

駒澤大学内禅学大辞典編纂所『新版禅学大辞典』大修館書店 27000円

また、多くの辞書類から仏教用語を調べる習慣をつけることが望ましい。その他必要な文献については、講義中に適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	ガイダンス 『禅関策進』とは	【予習】 シラバスを読む(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	『禅関策進』講読 (1) 黄檗運禅師の示衆(講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
③	『禅関策進』講読 (2) 趙州從諗禅師の示衆(講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
④	『禅関策進』講読 (3) 師備禅師の示衆(講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑤	『禅関策進』講読 (4) 大義禅師の垂誡(講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑥	『禅関策進』講読 (5) 延寿禅師の垂誡(講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑦	『禅関策進』講読 (6) 死心悟新禅師の小参(講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑧	『禅関策進』講読 (7) 法演禅師衆徒への教誡 (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑨	『禅関策進』講読 (8) 頤庵真禅師の普説(講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑩	『禅関策進』講読 (9) 大慧禅師の書簡(講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑪	『禅関策進』講読 (10) 徳異禅師の示衆(講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑫	『禅関策進』講読 (11) 素庵の田大士の示衆(講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑬	『禅関策進』講読 (12) 白雲無量滄禅師の普説 (講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑭	『禅関策進』講読 (13) 輦禅師が答えた書簡(講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑮	『禅関策進』講読 (14) 雪巖祖欽禅師の普説(講義・史料講読)	【予習】 配布プリントの読解、不明な語句を辞書類で調べる(45)
		【復習】 授業の確認とまとめ(30)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅宗法儀 a			担当教員名	池田 丈明	
サブタイトル	禅宗仏事法会の基本					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	火曜日・1	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、利海寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅宗の基本作法を身につけることができる。
- ・禅宗仏事法会に内在する思想を理解できる。
- ・専門道場の殿司(仏殿のことをつかさどる役職)も視野にいたした基本を修得できる。

【授業概要】

禅宗法儀を考えていくために、禅宗仏事法会を修するうえで基本的かつ必要な作法を解説します。さらに各授業の後半では、実習形式もとりいれ、受講者全員が型を身につけるために実物に触れて学びます。また、受講者は型を修得するために授業後の復習(反復練習)を十分に行うことを課題とします。

【質疑応答】

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(筆記試験50%程度)と授業への取り組み(50%)で成績を評価します。なお、授業時数の5分の1以上欠席すると、筆記試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』(臨済宗妙心寺派宗務本所、税込み1000円)。

加藤隆芳、水野泰嶺、森弘宗監修『江湖法式梵唄抄』(禅文化研究所、一九九〇年)。

『小叢林略清規』(『大正新脩大藏經』第八十一卷所収)。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	専門道場の日課・月例行事1 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	専門道場の日課・月例行事2 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	専門道場の日課・月例行事3 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	専門道場の年中行事1 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	専門道場の年中行事2 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	専門道場の年中行事3 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	専門道場の基本作法1 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	専門道場の基本作法2 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	専門道場の基本作法3 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	専門道場の基本作法4 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	施餓鬼の呪と鳴らしもの (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	施餓鬼の回向 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	施餓鬼幢幡の社会的意味とその作成 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	禅宗法儀b			担当教員名	池田丈明	
サブタイトル	禅宗仏事法会の基本					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	秋	火曜日・1	2	講義	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	妙心寺派僧侶、利海寺副住職			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・禅宗の基本作法を身につけることができる。
- ・禅宗仏事法会に内在する思想を理解できる。
- ・専門道場の殿司(仏殿のことをつかさどる役職)も視野にいたした基本を修得できる。

【授業概要】

禅宗法儀を考えていくために、禅宗仏事法会を修するうえで基本的かつ必要な作法を解説します。さらに各授業の後半では、実習形式もとり入れ、受講者全員が型を身につけるために実物に触れて学びます。また、受講者は型を修得するために授業後の復習(反復練習)を十分に行うことを課題とします。

【質疑応答】

オフィスアワーの時間に受け付けますので、研究室まで訪ねて来てください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

定期試験(筆記試験50%程度)と授業への取り組み(50%)で成績を評価します。なお、授業時数の5分の1以上欠席すると、筆記試験の受験資格がなくなりますので注意してください。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：『臨済宗妙心寺派 勤行聖典』(臨済宗妙心寺派宗務本所、税込み1000円)。

加藤隆芳、水野泰嶺、森弘宗監修『江湖法式梵唄抄』(禅文化研究所、一九九〇年)。

『小叢林略清規』(『大正新脩大藏經』第八十一卷所収)。

参考文献：適宜教示します。

配布資料：レジュメを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	はじめに (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	回向ならびに疏1 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	回向ならびに疏2 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	回向ならびに疏3 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	回向ならびに疏4 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	回向文の製作 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	鳴らし物の基本1 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	鳴らし物の基本2 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	鳴らし物の基本3 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	鳴らし物の基本4 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	『大般若波羅蜜多經』六百卷 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	『大般若波羅蜜多經』の転読法 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	大般若の回向 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	大般若札の製作 (講義・実習)	【予習】 テキストの該当箇所を調べて内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 これまでの学習内容の確認とまとめ(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本事情 a			担当教員名	鈴木重喜	
サブタイトル	日本文化を歴史から学ぶ					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1・2	春	月曜日・1	2	講義	15	留学生 選択必修
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・日本文化についての認識や理解を深めることができる。
- ・日本文化についてその意味を理解し、日本の言葉で表現できる。
- ・日本文化についてその意味を理解し、日本語の文章で表現できる。

【授業概要】

日本人は長い歴史の中で文化を形成し、現在まで伝えてきています。この授業では、日本の文化史を取り上げた書物を講読し、日本語の学習を兼ねます。毎回の授業のはじめに、学習する内容の説明を行った上で書物を読んでいきます。また、日本文化に関する発表もしていただきます。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。あわせて秋学期開講の「日本事情 b」も履修すると、より理解がしやすくなります。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は、定期試験(筆記試験 70%程度)と授業への取り組み(10%程度)、レポート・発表(20%程度)により行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：プリントを配布します。解釈に必要な中日辞典、英和辞典等を持参してください。

参考文献：日本語学習の進度により適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	オリエンテーション (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	新しい都、東京 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	キリスト教の解禁と神仏分離 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	学制の頒布と欧米思想の普及 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	改暦による生活の変化(講義・講読) *レポート提出	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	和歌に表れた文明開化 (講義・講読) *発表	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	近代建築物の誕生 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	近代文学の発達 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	演劇界の革新 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	マスメディアの発達 (講義・講読) *レポート提出	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	学術の発展と文化財の保護 (講義・講読) *発表	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	放送文化の発達 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	戦後の教育の改革 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	経済復興期の日本 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策としてこれまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	日本事情 b			担当教員名	鈴木重喜	
サブタイトル	日本文化を歴史から学ぶ					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	月曜日・1	2	講義	15	留学生 選択必修
実務経験の有無	無	実務経験(職業等)				

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・日本文化についての認識や理解を深めることができる。
- ・日本文化についてその意味を理解し、日本の言葉で表現できる。
- ・日本文化についてその意味を理解し、日本語の文章で表現できる。

【授業概要】

日本人は長い歴史の中で文化を形成し、現在まで伝えてきています。この授業では、日本の文化史を取り上げた書物を講読し、日本語の学習を兼ねます。毎回の授業のはじめに、学習する内容の説明を行った上で書物を読んでいきます。また、日本文化に関する発表もしていただきます。

【質疑応答】

理解できない内容についての質問は、オフィスアワーの時間に受け付けますので、遠慮なく聞いてください。あわせて春学期開講の「日本事情 a」も履修すると、より理解がしやすくなります。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は、定期試験（筆記試験 70%程度）と授業への取り組み（10%程度）、レポート・発表（20%程度）により行います。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：プリントを配布します。解釈に必要な中日辞典、英和辞典等を持参してください。

参考文献：日本語学習の進度により適宜紹介します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	オリエンテーション (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
②	平安遷都と山岳仏教の隆盛 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
③	弘仁・貞観期の文化(講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
④	芸術に表れた浄土思想 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑤	神仏習合と修験道 (講義・講読) *レポート提出	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑥	平仮名・片仮名の発生 (講義・講読) *発表	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑦	勅撰和歌集の編集 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑧	物語文学の誕生 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑨	日記文学の発達(講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑩	大和絵と物語絵 (講義・講読) *レポート提出	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑪	歴史物語の発生 (講義・講読) *発表	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑫	雅楽の成立 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑬	貴族の邸宅(講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑭	地方への文化の伝播 (講義・講読)	【予習】 プリントを読んで内容を把握する(30)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(60)
⑮	まとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策としてこれまでの学習内容を確認(120)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	茶道 a			担当教員名	辻 栄 治	
サブタイトル	茶道から学ぶ日本の伝統文化とおもてなしの心					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	金曜日・1	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	茶道裏千家教授			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・茶道の知識を習得できる。
- ・礼儀正しい態度を身に着けることができる。
- ・お茶を点てることができる。
- ・日本の伝統文化を知ることができる。

【授業概要】

日本の伝統文化である茶道を、割稽古（帛紗捌き、棗の清め方、茶巾のたたみ方等点前に先立って行う稽古）盆略点前、薄茶点前、お客様としての基本的な心構えを修得します。また、点前だけでなく掛け軸などの書、陶器などの総合芸術である茶道を理解できるようにします。稽古を通じて茶道の「思いやりの心」を養い、礼儀正しさと豊かな心を身につけます。季節にあった点前を知り、茶道を真の姿を実感できるようにします。

【質疑応答】

理解できないに内容については、授業中適宜聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

筆記試験 30%、授業態度 20%、レポート 30%、実技 20%で評価します。
着物着用（男子袴着用）、男女白足袋着用、帛紗、茶道用扇子持参

【テキスト及び参考文献】

学校茶道裏千家より発行『学校茶道初級編』税込 750 円

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	茶道を学ぶにあたっての基本的な知識	【予習】 シラバスを読み授業内容把握(20)
		【復習】 テキストにて内容確認(20)
②	割稽古 実習	【予習】 テキストにて内容把握(20)
		【復習】 テキストにて内容確認(20)
③	割稽古 実習	【予習】 テキストにて内容把握(20)
		【復習】 テキストにて内容確認(20)
④	盆略点前	【予習】 帛紗捌きができるように(20)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(30)
⑤	盆略点前	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑥	盆略点前	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑦	(風炉) 薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑧	(風炉) 薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑨	(風炉) 薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑩	棚にて(風炉) 薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑪	棚にて(風炉) 薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑫	葉蓋薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑬	葉蓋薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑭	洗い茶巾にて薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑮	洗い茶巾にて薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	茶道b			担当教員名	辻 栄 治	
サブタイトル	茶道から学ぶ日本の伝統文化とおもてなしの心					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	金曜日・1	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	茶道裏千家教授			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・茶道の知識を習得できる。
- ・礼儀正しい態度を身に着けることができる。
- ・お茶を点てることができる。
- ・日本の伝統文化を知ることができる。

【授業概要】

明治以降洋風文化が入り、腰掛けてお茶を点てる点前(立礼)ができました。その立礼の点前を稽古します。5月から稽古してきた風炉の点前が11月から炉の点前と変わります。炉の点前も稽古します。季節を大切に、茶道の相手への思いやりの心を実践で学びます。茶道で大事な点は点前だけでなく、掛け軸の扱い方や、茶碗の紐の結び方、茶碗などの陶器についても修得します。

【質疑応答】

理解できないに内容については、授業中適宜聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

筆記試験 30%、授業態度 20%、レポート 30%、実技 20%で評価します。
着物着用(男子袴着用)、男女白足袋着用、帛紗、茶道用扇子持参

【テキスト及び参考文献】

学校茶道裏千家より発行『学校茶道初級編』税込 750 円

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	茶道を学ぶにあたっての基本的な知識	【予習】 シラバスを読み授業内容把握(20)
		【復習】 テキストにて内容確認(20)
②	割稽古 実習	【予習】 テキストにて内容把握(20)
		【復習】 テキストにて内容確認(20)
③	割稽古 実習	【予習】 テキストにて内容把握(20)
		【復習】 テキストにて内容確認(20)
④	盆略点前	【予習】 帛紗捌きができるように(20)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(30)
⑤	盆略点前	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑥	盆略点前	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑦	立礼にて薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑧	立礼にて薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑨	立礼にて薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑩	炉薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑪	炉薄茶点前 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑫	棚にて薄茶点前(絞り茶巾) 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑬	棚にて薄茶点前(絞り茶巾) 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑭	炉流し点 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑮	炉流し点 実習	【予習】 前回のイメージ練習1回(10)
		【復習】 イメージ練習で内容確認(20)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	華道 a			担当教員名	辻 栄 治	
サブタイトル	花を知り、美しくいける					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	金曜日・2	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	日本生花司松月堂古流正教授			

【D P (ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・日本の伝統文化であるいけ花の知識を習得し、人に説明する事ができる。
- ・花を美しく表現できる技能を習得できる。
- ・生け花を自分でいけることができる。

【授業概要】

人は皆、花の色美しさを愛で、その香しい匂いに酔う。古今東西についても同じである。その中で日本では特に花を立てることを中心にして華道が成立した。自然にあるがままに咲く花を切り、その花の修正特徴を生かし、花をいけるという伝統文化を修得します。床の間、玄関、下駄箱の上などいける場所、また生ける器によって違う、生花（格式花）、盛花、自由花、投入花を修得します。

【質疑応答】

理解できない内容については授業中でも適宜聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

筆記試験 30%、授業態度 20%、レポート 30%、実技 20%で評価します。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：プリントを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	生け花の歴史	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認まとめ(30)
②	生花の考え方 生花の実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
③	生花の分体について 生花の実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
④	五行の花の考え方 生花の実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑤	盛花基本花型 盛花の実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑥	自然調盛花(造形調盛花) 盛花の実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑦	自然調盛花(造形調盛花) 盛花の実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑧	盛花応用花型 盛花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑨	鶴翼組花材をいける 生花の実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑩	生花年中行事の花について 生花の実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑪	盛花自由花型 盛花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑫	投入花基本花型 投入花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑬	投入花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑭	投入花実習	【予習】 前回実習の内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑮	生け花まとめ	【予習】 前回実習の内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	華道b			担当教員名	辻 栄 治	
サブタイトル	花を知り、美しくいける					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	金曜日・2	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	日本生花司松月堂古流正教授			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・日本の伝統文化であるいけ花の知識を習得し、人に説明する事ができる。
- ・花を美しく表現できる技能を習得できる。
- ・生け花を自分でいけることができる。

【授業概要】

人は皆、花の色美しさを愛で、その香しい匂いに酔う。古今東西についても同じである。その中で日本では特に花を立てることを中心にして華道が成立した。自然にあるがままに咲く花を切り、その花の修正特徴を生かし、花をいけるという伝統文化を修得します。床の間、玄関、下駄箱の上などいける場所、また生ける器によって違う、生花(格式花)、盛花、自由花、投入花を修得します。

【質疑応答】

理解できない内容については授業中でも適宜聞いてください。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

筆記試験 30%、授業態度 20%、レポート 30%、実技 20%します。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：プリントを配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	生け花の歴史	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認まとめ(30)
②	生花の考え方 生花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
③	生花の分体について 生花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
④	五行の花の考え方 生花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑤	盛花基本花型 盛花の実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑥	自然調盛花(造形調盛花) 盛花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑦	自然調盛花(造形調盛花) 盛花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑧	盛花応用花型 盛花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑨	鶴翼組花材をいける 生花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑩	生花年中行事の花について 生花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑪	盛花自由花型 盛花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑫	投入花基本花型 投入花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑬	投入花実習	【予習】 前回配布のプリントの内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑭	投入花実習	【予習】 前回実習の内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑮	生け花まとめ	【予習】 前回実習の内容把握(20)
		【復習】 授業内容の確認(20)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	筆禅道 a			担当教員名	加藤舞心	
サブタイトル	筆をもって禅を行じる					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	木曜日(隔週) ・3, 4	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	筆禅会会員			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・文房四宝(筆・墨・硯・紙)の取り扱い方を修得できる。
- ・呼吸・姿勢・執筆法を修得できる。
- ・手習い(技術)と目習い(鑑賞眼)を向上できる。

【授業概要】

書は文字を素材とした造形藝術であり、漢字文化圏において発達した。日本においては平安時代の仮名の美に象徴される最も美しい日本伝統文化の一つである。書を漢字書体(五体)の変遷をたどりながら、古典と呼ばれる中国・日本の名跡を臨書してその美しさに迫ります。

【質疑応答】

理解できない内容はその都度、質問してください。
時間が必要な時は授業後をお願いします。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は授業中の習作作品 50%、レポート及び試験 30%、授業に対する取り組み 20%によって評価する。
授業時数の5分の1以上欠席すると、試験資格がなくなります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：必要資料は担当者の方で準備します。紙代・教材費とし 2000 円徴収します。
参考文献：「書は人なり 墨跡の観方、学び方」 寺山 旦中 著 淡交社 1600 円+税
「墨跡の鑑賞基礎知識」 寺山 旦中/角井 博 著 至文堂 3600 円+税
「筆禅道 書と禅と養気法」 寺山 旦中 著 春秋社 2800 円+税

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	書について 筆禅道とは (講義・実習・鑑賞)	【予習】 書道とは(15)
		【復習】 呼吸(15)
②	用具用材 文房四宝 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 文房四宝とは(15)
		【復習】 道具の点検(15)
③	篆書の美 甲骨文・金文・石鼓文 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 篆書とは(15)
		【復習】 書体と書風(15)
④	泰山刻石・鄧石如 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 始皇帝(15)
		【復習】 姓名検字(30)
⑤	篆刻 金印・落款印 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 印章とは(15)
		【復習】 名印・姓名印奏刀(60)
⑥	楷書の美 楷書と片仮名・永字八法 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 楷書とは(15)
		【復習】 写経(60)
⑦	九成宮醴泉銘・孔子廟堂碑 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 楷書の極則(15)
		【復習】 唐の四大家・硬筆(30)
⑧	隸書の美 木簡・竹簡 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 隸書とは(15)
		【復習】 扁平(15)
⑨	乙瑛碑・曹全碑 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 新聞社名(15)
		【復習】 波磔・硬筆(15)
⑩	草書の美 草書と平仮名 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 草書とは(15)
		【復習】 草書と平仮名(30)
⑪	十七帖・真草千字文 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 千字文とは(15)
		【復習】 誤りやすい草書(30)
⑫	仮名の美 いろは (講義・実習・鑑賞)	【予習】 いろは歌(15)
		【復習】 平仮名单体・硬筆(30)
⑬	蓬萊切・高野切 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 変体仮名とは(15)
		【復習】 変体仮名・硬筆(30)
⑭	行書の美 楷書との比較 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 行書とは(15)
		【復習】 二王・宋の四大家(30)
⑮	蘭亭序・祭姪文稿 (講義・実習・鑑賞)	【予習および復習】 全臨(60)
⑯	筆記試験 レポート発表	

【メモ】

科目名	筆禅道 b			担当教員名	加藤舞心	
サブタイトル	筆をもって禅を行じる					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	木曜日(隔週) ・3, 4	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	筆禅会会員			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。

【到達目標】

- ・文房四宝(筆・墨・硯・紙)の取り扱い方を修得できる。
- ・呼吸・姿勢・執筆法を修得できる。
- ・手習い(技術)と目習い(鑑賞眼)を向上できる。

【授業概要】

書は用美一体の藝術であり、日常生活を離れません。筆をもつ機会は減りましたが、筆跡(墨跡)を鑑賞しながら、書は人なりを学んでいきます。墨跡は本来は墨筆で書いた文字のことですが、日本の書では禅宗の高僧の筆跡を禅林墨跡、略して墨跡といいます。墨跡に参じてその人物に迫ります。

【質疑応答】

理解できない内容はその都度、質問してください。
時間が必要な時は授業後をお願いします。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

評価は授業中の習作作品 50%、レポート及び試験 30%、授業に対する取り組み 20%によって評価する。
授業時数の5分の1以上欠席すると、試験資格がなくなります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：必要資料は担当者の方で準備します。紙代・教材費とし 2000 円徴収します。
参考文献：「書は人なり 墨跡の観方、学び方」 寺山 且中 著 淡交社 1600 円+税
「墨跡の鑑賞基礎知識」 寺山 且中/角井 博 著 至文堂 3600 円+税
「筆禅道 書と禅と養気法」 寺山 且中 著 春秋社 2800 円+税

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	漢字仮名交じり書 (漢字・片仮名・平仮名) (講義・実習・鑑賞)	【予習】 會津八一について(15)
		【復習】 「学規」(30)
②	書と書論 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 高村光太郎について(15)
		【復習】 「雨ニモマケズ」(30)
③	最澄の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 最澄について(15)
		【復習】 「久隔帖」〈硬筆〉(30)
④	三筆の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 三筆とは(15)
		【復習】 〈硬筆〉(30)
⑤	空海の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 空海について(15)
		【復習】 「風信帖」〈硬筆〉(30)
⑥	三跡の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 三跡とは(15)
		【復習】 〈硬筆〉(30)
⑦	宗峰妙超の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 大燈について(15)
		【復習】 〈硬筆〉(30)
⑧	関山慧玄の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 関山について(15)
		【復習】 〈硬筆〉(30)
⑨	一休宗純の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 一休について(15)
		【復習】 〈硬筆〉(30)
⑩	澤庵宗彭の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 澤庵について(15)
		【復習】 〈硬筆〉(30)
⑪	白隠慧鶴の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 白隠について(15)
		【復習】 〈硬筆〉(30)
⑫	大愚良寛の書 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 良寛について(15)
		【復習】 〈硬筆〉(30)
⑬	作品制作 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 選文 (墨場必携)(15)
		【復習】 草稿 (30)
⑭	作品制作 (講義・実習・鑑賞)	【予習】 検字 (五体字類)(15)
		【復習】 落款 (30)
⑮	筆禅道 (講義・実習・鑑賞)	【予習および復習】 書初め(45)
⑯	筆記試験 レポート発表	

【メモ】

科目名	陶芸 a			担当教員名	松原 一 哲	
サブタイトル	うつわの芯					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	春	金曜日(隔週) ・3, 4	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	陶芸家			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・ひたすら陶芸のもつ芸術的なおもしろさに触れることにより、探究することができる。
- ・一作一作独自の輝きをもつ、うつわ制作をすることで技の習得ができる。
- ・プロセスを想像しながら鑑賞でき、焼き物への親しみ、共感がいっそう増すことができる。

【授業概要】

器にふれ、口をつけ、見つめる。器は人間のあらゆる感覚の近くで生々と響く言葉を持っています。そして折々に器に語りかける。その言葉をいかに受け止め得るか、そこから個人各様の器に対するこだわりが生まれてくるのでしょうか。ここでは、器への深いまなざしをお持ちの学生諸君にお話しを伺い作陶に励もうと思います。

【質疑応答】

疑問等の質問は、授業中・授業後に受付ますので、遠慮なく聞いて下さい。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

授業への取り組み 50% 定期試験 25% 作品提出 25%により行う。なお、授業数 5分の1以上欠席すると、試験の受験資格がなくなります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：必要な資料は配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	制作工程の説明 (講義)	【予習】 シラバスを読み、授業内容をあらかじめ把握する(20)
		【復習】 授業内容の確認とまとめ(30)
②	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
③	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
④	轆轤をひく 煎茶湯呑制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑤	轆轤をひく 飯茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑥	轆轤をひく 飯茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑦	轆轤をひく 飯茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑧	轆轤をひく 700度で素焼き (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑨	轆轤をひく 絵付け 施釉 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑩	轆轤をひく 1230度で電気炉焼成 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑪	轆轤をひく 抹茶茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑫	轆轤をひく 抹茶茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑬	轆轤をひく 抹茶茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑭	轆轤をひく 抹茶茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑮	授業のまとめ (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認する(60)
⑯	筆記試験	

【メモ】

科目名	陶芸b			担当教員名	松原一哲	
サブタイトル	うつわの芯					
開講基準 年次	授業期間 春・秋学期	開講曜日 時限目	単位数	授業区分 講義・演習・実習	授業コマ数	必修・選択
1	秋	金曜日(隔週) ・3,4	1	実習	15	選択
実務経験の有無	有	実務経験(職業等)	陶芸家			

【DP(ディプロマポリシー)】

①広い社会的関心と教養を有し、宗教・仏教・禅・歴史・文化について説明でき、禅について専門的知識を習得している。②宗教・仏教・禅・歴史・文化についての豊かな素養を踏まえつつ、対象を正確に理解し、表現することで、他者との相互理解に努め、組織の中で創造的に活動していくことができる。③建学の精神(行学一体)を深く理解し、実践し続けるために豊かな人間性と高い倫理・道徳観を備え、協調性をもち社会に貢献できる能力を有している。

【到達目標】

- ・ひたすら陶芸のもつ芸術的なおもしろさに触れることにより、探究することができる。
- ・一作一作独自の輝きをもつ、うつわ制作をすることで技の習得ができる。
- ・プロセスを想像しながら鑑賞でき、焼き物への親しみ、共感がいっそう増すことができる。

【授業概要】

器にふれ、口をつけ、見つめる。器は人間のあらゆる感覚の近くで生々と響く言葉を持っています。そして折々に器に語りかける。その言葉をいかに受け止め得るか、そこから個人各様の器に対するこだわりが生まれてくるのでしょうか。ここでは、器への深いまなざしをお持ちの学生諸君にお話しを伺い作陶に励もうと思います。

【質疑応答】

疑問等の質問は、授業中・授業後に受付ますので、遠慮なく聞いて下さい。

【単位の認定評価方法及び受講上の留意点】

授業への取り組み 50% 定期試験 25% 作品提出 25%により行う。なお、授業数 5分の1以上欠席すると、試験の受験資格がなくなります。

【テキスト及び参考文献】

テキスト：必要な資料は配布します。

【授業計画】

	内 容	授業時間外学習・時間(分)
①	轆轤をひく 抹茶茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
②	轆轤をひく 抹茶茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
③	轆轤をひく 抹茶茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
④	轆轤をひく 抹茶茶碗制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑤	轆轤をひく 徳利、一輪花入制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑥	轆轤をひく 徳利、一輪花入制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑦	轆轤をひく 徳利、一輪花入制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑧	轆轤をひく 徳利、一輪花入制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑨	轆轤をひく 徳利、一輪花入制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑩	轆轤をひく 自由制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑪	轆轤をひく 自由制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑫	轆轤をひく 自由制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑬	轆轤をひく 自由制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑭	電気窯焼成 作品制作 (実習)	【予習】 芯出し練習(30)
		【復習】 高台削り(60)
⑮	作品提出 鑑賞 (講義)	【予習および復習】 試験対策として、これまでの学習内容を確認する(60)
⑯	筆記試験	

【メモ】